

公益財団法人大阪陸上競技協会
第４期 事業報告
(２０２４年４月１日～２０２５年３月３１日)

(概括)

２０２４年度の競技会に関する計画の策定及び管理運営に関しては、数年に渡る感染防止対策を廃し、参加競技者の拡大、観衆を増加させるため諸対策を講じた。競技会別にみると、木南記念陸上大会においては、観覧席を有料化するとともにフィニッシュ付近の特別シート設置など臨場感と魅力ある観覧席を設置し販売した。場内イベントプレゼンテーションでは英語アナウンサーを起用するなど国際競技会としての演出を企画し魅力を引き上げる施策を講じた。また、ＴＢＳによる有料チャンネル独占中継放送が行われた。大阪マラソンにおいては、記録が出やすいコースを活かし海外ランナーを含む３万４千人が出走した。初マラソン日本最高記録の誕生などをＮＨＫで中継放送し、完走率は最高水準を維持したほか全体の盛り上がりを通じて大阪の都市魅力の発信に貢献できた。他方、手荷物返還が混雑するなど参加者の評価に課題を残した。

ＯＳＡＫＡ夢プログラム事業では、パリオリンピック・パラリンピック大会に合計７名の代表を送り出した。メダル獲得にはならなかったものの男子リレー５位入賞、パラリンピック男子マラソン７位入賞を果たし本事業の初期の目的を達成した。次回ロスアンゼルスオリンピック・パラリンピックに向けて第三期事業を発足することとした。

陸上教室(大阪アスレチックスアカデミア、クラブアカデミア)事業を推進、小学生、中学生、社会人を受講生として毎週木曜日の夜間に教室、クラブは週４階の練習会をヤンマーフィールド長居等において実施した。これにより教員の働き方改革を踏まえ中学の課外活動縮小に伴う生徒の運動部活動の地域側の受け皿のモデルとなることを目指す一歩となるとともに。クラブアカデミアの登録生は中体連の競技会において上位入賞を果たした。

協会運営に関しては、登録競技者の減少、主管料収入の低下、アカデミア事業に係る初期投資の増加、大阪マラソン法人化検討に向けた事務局体制の強化等に伴う費用増により資金繰りが悪化したため、競技会収支の改善、費用の節減、協賛金の協力要請の強化や各種補助金の確保等を柱とする緊急収支改善計画を１年間延長し、経営の健全化を図ることとした。

広報では、広報戦略部、映像配信部のスタッフによる競技会のＹｏｕＴｕｂｅ配信の定例化、短編動画の配信などタイムリーな競技会情報発信を進めた。

また、一般府民向けのランニング教室として第４回目となる長居スプリントチャレンジをヤンマースタジアム長居において実施した。

以下、２０２４年度における公益目的事業及び法人の管理運営について総括する。

1.陸上競技に関する諸計画の実施及びその技術指導等に関する事業

当協会は、２０２４年度に実施する競技会に関して、オリンピック競技大会、日本選手権大会、国民スポーツ大会等の上位競技会の開催状況を踏まえつつ、当会主催競技会、協力団体競技会など府内の全ての競技会の年間計画(スケジュール)を関係団体、競技場施設と調整を図り策定した。最新の国際陸連、日本陸連の競技規則の周知に関しては、４月の記録会を利用して全審判員に対して「２０２４年度競技規則修改制」に係る講習会を実施した。

２０２４年度に大阪府内で行われた全ての主催・主管・共催・協力する競技会に審判員を派遣し技術指導を行った。その主なものは、次のとおり。大阪マラソン２０２５、第４４回大阪国際女子マラソン、第１０８回日本陸上競技選手権大会・室内競技、日本ＧＰエディオンディスタンスチャ

レンジ in 大阪 2024、2025 大阪ハーフマラソン、大阪・中之島 2024 競歩大会、第 27 回 全国視覚障がい者駅伝大会。

2. 陸上競技会の主催、運営等に関する事業

(1) 国内競技会

①大阪陸上競技カーニバル

4月28日に万博記念競技場で実施した。例年と競技場が変更となった為、中体連のPCを使用した。参加者の少ない競技は次年度廃止の方向で検討する。

②第68回関西実業団陸上競技選手権大会

5月31日～6月2日にヤンマースタジアム長居及びヤンマーフィールド長居において実施した。数年ぶりの開催で連盟事務局との調整がうまくできなかった点もあるが概ね問題なく終了できた。部署により競技役員が不足し、次年度の課題となった。

③第92回大阪陸上競技選手権大会

6月21日～23日にヤンマースタジアム長居及びヤンマーフィールド長居で実施した。今年から競技場の器具貸し出し方法が変更となり、YSとYFの移動はできない事になったが、大阪の最高レベルの競技会であるので移動を認めてもらった。混成競技の時間設定にミスがあったが、現場対応で乗り切ることができた。

④2024年度大阪陸協加入クラブ対抗陸上競技大会

9月29日にヤンマーフィールド長居で実施した。今年も審判の欠席が多く学生審判の協力で乗り切れた。ただ、次年度も協力いただけるかは学連の競技会次第である。参加者が極端に少ない種目は次年度廃止の方向で検討している。

⑤第27回全国視覚障がい者駅伝大会

11月4日にヤンマースタジアム長居・周回コースで実施した。長居会場で開催するようになって12回目となるが、全国から多数の参加者があり成功裏に終了した。

⑥大阪・中之島2024競歩大会

11月10日に日本陸連公認中之島コースで実施した。今年はシニア男女10kmとU20男子10km、U20女子5kmの4種目を実施したが、シニアの参加者が少なかった。

⑦日本GPエディオンディスタンスチャレンジ in 大阪2024

12月7日にヤンマースタジアム長居で実施した。昨年に続く開催であるが特段の問題もなく無事終了した。

⑧2025大阪ハーフマラソン

1月26日に大阪城公園スタート～ヤンマーフィールド長居フィニッシュの日本陸連公認、WA認証コースで実施した。本年も関西学生ハーフマラソン選手権大会を併催して実施した。ここ数年男女とも記録の向上が見られ、国内トップレースの1つに位置づけられている。

⑨第108回日本陸上競技選手権大会・室内競技

2月1日、2日に大阪城ホールで開催した。本大会は日本陸上競技連盟が主催する国内唯一の室内競技会である。室内U20日本タイ記録が1つ、大会記録が1つ、大会タイ記録が1つ樹立された。

⑩その他記録会等

大阪陸上競技記録会は4月7日に第1回、4月13日・14日に第2回を実施した。

大阪陸上競技記録会中学の部は4月6日から6月16日まで計4回実施した。

長距離記録会は9月27日にナイター記録会、12月14日に1回のみ実施した。

(2) 国際競技会

①日本GP第11回木南道孝記念陸上競技大会

5月12日に日本グランプリシリーズ、WAコンチネンタルツアー・ブロンズとしてヤンマースタジアム長居で実施した。6種目で11個の大会新記録、1種目で1個の大会タイ記録が誕生した。

②第44回大阪国際女子マラソン

1月26日にヤンマースタジアム長居発着の日本陸連公認、WA/AIMS認証コースにおいて、「東京2025世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会」を兼ねて実施した。昨年日本記録が達成された折り返しのないコースで今年も好記録が誕生し、東京世界陸上選考資格記録を2名が突破した。

③大阪マラソン2025

2月24日に大阪府庁前スタート、大阪城公園内フィニッシュとする大阪マラソンコース(WA/AIMS認証コース)で開催した。昨年から折り返しを3ヶ所に減らし上り下りも押さえた記録の出るコースで実施した結果、4つの大会新記録と今年も初マラソン日本新記録が誕生した。ただ、運営面では折り返し地点を間違えるなど反省すべき点もあった。

(3) 府民・市民向け陸上イベント

① 長居スプリントチャレンジ2024

本格的な陸上競技場で走ったことがない一般市民の皆さんに気軽に走っていただくことを目的に始まった「長居スプリントチャレンジ」も今年で4回目を迎え、10月6日にヤンマースタジアム長居で実施した。小学生から大人まで日本陸連に登録していない多くの方の参加があり、準備運動・スタートブロックの装着指導・スタートテストなど、当協会の指導者が丁寧に指導、援助した。そして写真判定装置による公式計時、結果を表示した大型スクリーン前での写真撮影を実施し好評を得た。

3. 陸上競技会に対する役員及び競技者の派遣に関する事業

国民スポーツ大会、全国都道府県対抗男子駅伝、同女子駅伝、その他2024年度各競技会について

(1) 主な競技会への監督・コーチ・選手派遣

① 第78回国民スポーツ大会 (SAGA2024国民スポーツ大会)

島津監督・船津監督以下、コーチ10名・マネージャー2名・トレーナー3名、選手28名を派遣。

・男女総合(天皇杯) 2位 115.5点(1位:京都府 121点)

・女子総合(皇后杯) 優勝 74.5点 3連覇(2位:京都府 65点)

② 皇后盃 第43回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会

安田監督以下、コーチ5名・トレーナー1名、選手13名(うち補欠4名)を派遣。

・総合2位 2°17'52" (1位:京都府 2°15'26")

③ 天皇盃 第30回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

鈴木監督以下、コーチ7名・選手12名(うち補欠5名)を派遣。

・総合9位 2°19'01" (優勝:長野県 2°16'55"、3位 2°18'02")

(2) その他の競技会への監督・コーチ・選手派遣

① 第77回全国高等学校陸上競技対校選手権大会(7月28日～8月1日:福岡県・東平尾公園博多の森陸上競技場)

船津総監督(高体連強化部長)、成瀬男子監督(東海大仰星高校)、井畑女子監督(関大北陽高校)、選手100名(男子49名・女子51名)を派遣。大塚高校が女子総合優勝(東

大阪大敬愛高校が総合2位)。個人種目では男子100m(西岡・東海大仰星高校)と、女子800m(久保・東大阪大敬愛高校)、棒高跳(松井・大塚高校)、砲丸投(坂・大体大浪商高校)で優勝。

- ② 第51回全日本中学校陸上競技選手権大会(8月17日～20日:福井県・福井県営陸上競技場・9.98スタジアム)

田中監督(中体連強化部長)以下、強化部員、個人種目84名(男子56名・女子28名)、リレー男女各1チームを派遣。女子砲丸投(チディ・河南陸上クラブ)で優勝、男子100mと砲丸投で2位入賞。

- ③ “日清食品カップ”第40回全国小学生陸上競技交流大会(9月22日:東京都・国立競技場)

鷹取監督、指導者3名、選手14名(男子7名・女子7名)を派遣。女子コンバインドA(宮守・HRJ)で2位入賞。

- ④ 第18回U18/第55回U16陸上競技大会(10月18日～20日:三重県・三重交通Gスポーツの杜 伊勢陸上競技場)

U18陸上競技大会で優勝はなく、女子3000mW(奥野・浪速高校)と棒高跳(上山・大塚高校)の2種目で2位入賞。

U16陸上競技大会では、男子走幅跳(笹田・河南高校)と円盤投(大谷・河南陸上クラブ)で優勝。

4 陸上競技指導者等の表彰に関する事業

(1) 公認審判員、競技者、指導者等の表彰

① 公認審判員、指導者等の表彰

功労賞は、審判員等として献身的に大阪の陸上競技のために貢献してきた方に授与するものであり、2024年度は9名の方に授与した。

優秀指導者賞は、ジュニア競技者の育成に顕著な業績を上げた優秀な指導者に授与するものであり、本年度は小学生・中学生・高校生の指導者合計5名を表彰した。

② 競技者の表彰

勲功章は、全国大会等の優勝者、大阪新記録の樹立者に授与するもので、今年度は55名の競技者に授与した。

③ 激励金の交付

パリオリンピック、パラリンピック競技大会の代表となった坂井、泉谷、濱西、田中、秦、森本、前田、堀越の8選手に大会規定に基づき激励金を贈呈した。

5. 陸上競技選手等の育成・指導に関する事業

(1) 強化事業(競技者の育成)

① 女子長距離夏季強化合宿

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会での優勝を目指し、その中心となる高校生候補選手7名を集め、御岳高原高地トレーニングエリアで11日間(7月9日～18日)の強化合宿を実施した。

② 男子長距離夏季強化合宿

全国都道府県対抗男子駅伝競走大会での上位入賞を目指し、大阪中学校体育連盟陸上競技専門部と連携し、中学生男子63名が参加し国立乗鞍青少年交流の家周辺クロカンコース及びグラウンドで4日間(7月28日～31日)の強化合宿を実施した。

③ 小学生中学生合同練習会

大阪中学校体育連盟陸上競技専門部と大阪小学生陸上運動研究協議会と連携し、小中学生合同での第1回練習会を7月25日、万博記念競技場で実施し、小学生12名、中学生306名が参加した。

第2回練習会は1月11日、万博記念競技場で実施し、小学生35名、中学生204名が参加した。

④ 国スポ強化合宿

国民スポーツ大会での男女総合優勝を目指し、その大阪代表選手を集め、水口スポーツの森 陸上競技場で3日間（8月27日～29日）の強化合宿を実施した。

⑤ 国スポ強化練習会

国民スポーツ大会での男女総合優勝を目指し、9月23日にその大阪代表選手を集め、万博記念競技場で強化練習会を実施した。

⑥ 強化選手＜中学生・高校生＞練習会

2025年度全国大会で上位入賞を狙える強化選手Aランク49名（中学生20名・高校生29名）と下位入賞を狙える強化選手Bランク79名（中学生34名・高校生45名）を選考し、強化練習会を2回（12月8日、2月9日）万博記念競技場で実施した。

⑦ 高体連強化育成練習会

2025年度大阪高体連強化標準記録突破選手と高体連強化コーチ推薦選手、男女計279名が参加して、ヤンマースタジアム長居・金岡公園陸上競技場等で3日間（12月25日～27日）の練習会を実施した。

⑧ 冬季大阪ジュニア陸上強化合宿

大阪中学校体育連盟陸上競技長距離強化選手3名・強化部推薦選手47名を集め、紀三井寺陸上競技場周辺および桃源郷運動公園で3日間（12月25日～27日）の強化合宿を実施した。

⑨ 男子駅伝チーム合同練習会

全国都道府県対抗男子駅伝競走大会で過去最高順位の更新を目指し、選手9名（中学生4名、高校生5名）で長居公園周回コースを使用して4回（12月21日・25日・26日、27日、1月11日）の合同練習会を実施した。

⑩ 女子駅伝チーム年末合宿

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会での優勝を目指し、選手9名（中学生4名、高校生5名）を集め、駅伝コースおよびその周辺で2日間（12月28日～29日）の強化合宿を実施した。

⑪ 女子駅伝チーム試走合宿

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会での優勝を目指し、選手9名（中学生4名、高校生5名）を集め、実際の駅伝コース試走を中心に3日間（1月4日～6日）の調整合宿を実施した。

⑫ 男子駅伝チーム試走合宿

全国都道府県対抗男子駅伝競走大会で過去最高順位の更新を目指し、選手9名（中学生4名、高校生5名）で実際の駅伝コース試走を中心に2日間（1月5日～6日）の調整合宿を実施した。

⑬ 冬季強化合宿

2025年度全国大会で上位入賞を狙える強化選手Aランクを中心に30名（男子15名・女子15名）を選考し、鹿児島県のジャパンアスリートトレーニングセンター大隅で

4日間（1月4日～7日）の強化合宿を実施した。

⑭ 中体連強化選手練習会

大阪中学校体育連盟陸上競技強化選手51名・強化部推薦選手55名を集め、強化練習会を4回（1月25日、2月15日、3月2日、3月15日）万博記念競技場で実施した。

⑮ 春季大阪ジュニア陸上強化合宿

大阪中学校体育連盟陸上競技強化選手51名・強化部推薦選手等119名を集め、紀三井寺陸上競技場およびその周辺で3日間（3月27日～29日）の強化合宿を実施した。

（2）指導者の育成

有資格者（日本スポーツ協会および日本陸上競技連盟公認スポーツ指導者）の育成

① JAAF公認コーチ<JSPO公認陸上競技コーチ3>

日本スポーツ協会・日本陸上競技連盟主催の「JSPO公認陸上競技コーチ3養成講習会」に受講者を2名（黒坂智瑞、松岡晃）推薦した。

② JAAF公認ジュニアコーチ<JSPO公認陸上競技コーチ1>

2015年度から9回目（2020年度のみコロナ感染拡大による中止）の「JSPO公認陸上競技コーチ1養成講習会」大阪会場を開催し、29名が受講した。

③ JAAF公認スタートコーチ<JSPO公認陸上競技スタートコーチ>

2022年度から始まった「JAAF公認スタートコーチ養成講習会」も3年連続大阪会場（2月9日：万博記念競技場）を開催し、9名が受講した。

④ 日本陸上競技連盟委嘱 エducーター<コーチ育成者>

2023年度「エducーター養成講習会」を受講した者が「JAAF公認スタートコーチ養成講習会」でエducーター候補として講師を担当し、大阪にはエducーターが2名となった。

⑤ 冬季大阪ジュニア陸上競技指導者研修合宿

大阪中学校体育連盟各地区陸上競技専門部委員会から推薦を受けた陸上競技指導者13名に3日間（12月27日～29日紀三井寺陸上競技場）参加してもらい、陸上競技（2024年度も短距離・ハードル・走幅跳）を通した身体リテラシーの育成方法や実践的指導理論に基づく中学生に最適なトレーニング方法を習得してもらった。

⑥ 近畿ブロック研修合宿への指導者派遣

中学生の陸上競技に携わる選手及び指導者が競技に対する知識と理解を深めながら種目に応じた技術指導の中、一層の競技力向上に寄与するとともに集団生活を通じて基本的な生活習慣の確立と選手相互の友情を培うことを目的として3日間（1月11日～13日）紀三井寺陸上競技場で研修合宿を実施した。

⑦ 有資格指導者への情報発信、資格更新研修会

資格有効期限間近の指導者に連絡、更新研修会を紹介するとともに、上記⑤を資格更新研修会として、有資格者に受講を勧めた。

⑧ 中学生・高校生の指導者対象の各種目別実技指導講習会

大阪中学校体育連盟陸上競技専門部、大阪高等学校体育連盟陸上競技部、また各市陸上競技協会等と連携し、年数回の種目別実技指導講習会を開催した。

（3）大阪アスレックスアカデミア事業

＜アカデミア陸上教室＞

小学生、中学生、社会人を対象にヤンマーフィールド長居を拠点として週1回講座を開催した。カリキュラムは、運動の苦手な子どもたちも参加できる内容とし、初心者の方には社会人向けには各々の運動能力に配慮したものとした。

とりわけ、小中学生の受講生の心身の健全な育成と成長を丹念に支援していくとの事業目標のもとに、子供たちが楽しく運動に触れあえるものとし、走、投、跳の基礎動作について用具を使って楽しく学習、体験できるものとした。中学生の育成指導に関して実績のある当会の理事、職員に加えオリンピック、国際陸連公認コーチ、日本スポーツ協会公認指導員、看護師をコーチ、支援員に配置した。保護者に対しても、運動の基礎理論や小学生期の発達段階における育成の方法、栄養取得などに関する講義を行い、身近な家庭からも成長を見守れるよう支援を行った。

また、大阪市の後援を受け、同市の広報の支援をいただくなど事業の幅広い広報活動を行った。

＜クラブアカデミアの創設＞

国は教員の働き方改革を推進しており、中学校の課外活動は教員の土日の活動が無くなることにより競技会への帯同もできなくなっていく。本クラブアカデミアは、こうした運動部活動の縮小にともなう地域の受け皿となるものである。クラブアカデミアは、中体連の競技会に正式に参加し、登録生、練習生(中学校の部活動に入部している生徒)のカテゴリーを設け、週5回(練習生は2回)の練習会を実施した。登録生、練習生の競技力の向上、心身の健全な育成を図るとともに競技会での上位入賞を獲得するなどの成果を上げた。本クラブは、将来のトップアスリートのインキュベーター機能としてその基盤整備を図っていく。

＜事業の安定化＞

2025年度末には全体計画が一巡することから、社会人コースの拡充、協賛金等の拡大などに取り組み教室事業の収支均衡が図られるよう取り組んでいく必要がある。そのため、スタッフ会議による事業改善等の検討を行った。

＜受講者実績＞

学年	人数	備考
低学年	32人	1年生(2人)、2年生(14人)、3年生(16人)
高学年	58人	4年生(19人)、5年生(24人)、6年生(15人)
中学生	19人	1年生(8人)、2年生(4人)、3年生(7人)
中学登録生	28人	1年生(6人)、2年生(16人)、3年生(6人)
中学練習生	56人	1年生(15人)、2年生(29人)、3年生(12人)
社会人	2人	
計	195人	

(4)第Ⅱ期OSAKA夢プログラム事業

・事業概括

本事業は、地元大阪から2020東京オリンピック競技大会に代表選手を送り、陸上・スポーツを通じた地域の活性化につなげたいとの決意のもとに地元経済界の多大なるご協賛のもと2015年9月からスタートした。2021年6月にヤンマースタジアム長居で開催した『第105回日本陸上競技選手権大会(東京オリンピック代表最終選考会)』において、男子100mにおいて多田修平選手、同200mにおいて小池祐貴選手が優勝し、個人種目とリレーで念願のオリンピック出場が決定するなどの成果を上げてきた。ブダペスト2023世界選手権においては、当事業指定競技者から10名が代表選手として選出される快挙となった。泉谷選手が110mH競技で5位となるなどメダル獲得が期待される成果を上げる結果となり、年を追うごとに本プログラムによる支援の成果が着実に確認されるところとなっている。

第Ⅱ期事業の目的とする2024パリオリンピック・パラリンピックにおいては、当事業の指定競技者(下記、第Ⅱ期指定競技者一覧表)中、◎印の競技者が日本代表に選考された。競技成績は同表右欄記載のとおりである。

プログラムの推進にあたっては、メダリストを育成した海外指導者のコーチングや海外競技会への参戦により実戦経験を積むとともに、ナショナルチーム合宿への参加など各国のトップアスリートとの交流を図り、世界のトップの技術や精神力などを身近に体験することができ競技力の引き上げに貢献している。また、冬季の国際室内競技会にも積極的に参加し、年間を通してトップアスリートとなるための指定競技者に応じたプログラムを推進した。

<2023年度 第Ⅱ期OSAKA夢プログラム 指定競技者一覧>

no	指名		所属	種目	ランク	2025 パリ成績
1	坂井 隆一郎◎	男	大阪ガス	100m	A	パリ男子リレー5位 パリ100m 予選5位
2	小池 祐貴	男	住友電気工業	100m	A	
3	泉谷 駿介◎	男	住友電気工業	110mH	A	パリ準決勝3位
4	濱西 諒◎	男	サンベルク	競歩		20キロRW決勝18位
5	丸山 優真	男	住友電気工業	十種競技	A	
6	堀越 信司◎	男	NTT西日本	PARAマラソン	A	パリマラソン決勝7位
7	寺田 明日香	女	ジャパングリエイト	100mH	A	
8	田中 佑美◎	女	富士通	100mH	A	パリ準決勝7位
9	松田 瑞生	女	ダイハツ	マラソン	A	
10	加世田 梨花	女	ダイハツ	マラソン	A	
11	秦 澄美鈴◎	女	住友電気工業	走幅跳	A	パリ予選13位
12	森本 麻里子◎	女	オリコ	三段跳	A	パリ予選14位
13	福田 翔大	男	日本大学	ハンマー投	B	
14	野田 明宏	男	自衛隊体育学校	競歩	B	
15	塩見 綾乃	女	岩谷産業	800m	B	
16	前田 穂南◎	女	天満屋	マラソン	B	パリ決勝 棄権
17	多田 修平	男	住友電気工業	100m	C	
18	伊東 利来也	男	住友電気工業	400m	C	
19	渡邊 瑛斗	男	筑波大学	棒高跳	C	
20	北田 琉偉	男	日本体育大学	棒高跳	C	
21	アツホ・ソジェイツ	男	福岡大学	砲丸投	C	
22	渡辺 愛	女	園田学園女子大学	800m	C	
23	佐藤 友佳	女	ニコニコのり	やり投	C	

※期間中の指定競技者の変更を含む。

また、これらの成果を踏まえ、第Ⅲ期事業を推進することとした。

(5)障がい者競技者指導、競技会への役員派遣【讃岐】

大阪市障害者福祉スポーツ協会の委託を受け、障がい者対象の陸上教室（ランrunラン）に指導者を派遣し、楽しく陸上競技、スポーツを楽しめるよう指導した。今年度は、大阪アスレチックスアカデミア事業とも連携して一緒に練習を行う取り組みも実施した。

大阪市障がい者スポーツ大会及び大阪府障がい者スポーツ大会の審判員を派遣し競技運営にあたりるとともに、全国障がい者スポーツ大会の大阪府選手団の選考を行い、大会に役員を派遣した。また、大阪府選手団の練習会の指導を行った。さらに、ヤンマースタジアム長居において開催された全国視覚障がい者駅伝大会へ審判員を派遣した。

6.その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 競技者・公認審判員登録管理等

登録競技者数(過去5年推移)

年度	登録競技者数	増減
2019	29,695	—
2020	27,199	△2,496
2021	25,682	△1,517
2022	25,045	△637
2023	22,765	△2,280
2024	22,727	△38

登録競技者数は、少子化や新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少傾向にある。登録競技者の減少は、協会の基礎的な運営基盤の低下となるものであり、競技会魅力の向上や登録者以外の府民参加への対応が求められる。

公認審判員登録数(期末登録者数)

年度	大阪陸協公認審判員登録者数	増減
2019	1,510 人	—
2020	1,406 人	△104 人
2021	1,326 人	△80
2022	1,341 人	15 人
2023	1,285 人	△56
2024	1,212 人	△73

公認審判員登録者数は、高齢化の伸展や教員の働き方改革等の影響を受け減少している。登録審判員の減少は、審判編成や審判技術の継承に課題が生じる要因となっている。当会主催競技会は、中体連、高体連の教員を中心に審判編成しており大規模大会で審判員確保に窮する事態も生じている。学生・高校生などの若年審判員の育成、活用が課題となっている。

(2) 広報活動(ホームページ、YouTube、SNS等の活用促進の推進)【讃岐】

ホームページコンテンツの即時性を高め、見やすい画面にするように運用改善を進めた。YouTube 配信を活用した記録会等の生中継放送等に関しては、大阪陸協チャンネルから様々な工夫を凝らし、充実を図った。Twitter や Facebook への投稿にも努めた。

情報発信の強化に関しては、競技会要綱、エントリーリスト、スタートリスト、リザルト速報、公式リザルトなど競技会情報をタイムリーに当会ホームページに掲載し、府・市民の皆様の誰もが閲覧できるようにした。

大阪マラソンにおいては、日本放送協会、毎日放送、読売テレビにおいて中継放送を実施した。市民ランナーを含む約3万4千人の参加により大いに盛り上がった。

OSAKA夢プログラム事業は専用ホームページにおいて、活動の様様や結果を報告した。

第11回木南記念陸上においては、TBSによる独占配信を行った。また、大阪アスレチックスアカデミア事業専用ホームページを設けるとともに大阪市を通じた受講生募集広報も実施した。

(3) 公認審判員の育成等

2024年度審判講習会、新規公認審判員認定講習を下表の日程で実施した。本講習会において、国際陸連・日本陸連競技規則の修正周知を図った。

回	期日	大会名	場所	参加者
第1回	2024/04/14	第2回記録会	ヤンマースタジアム長居	573

第2回	2024/04/29	大阪マスターズ陸上大会	ヤンマーフィールド長居	96
第3回	2024/06/15	第4回記録会(中学生)	万博記念公園陸上競技場	252
第4回	2024/06/18	大阪実業団陸上	ヤンマーフィールド長居	195

(5) 各種会議の開催状況

評議員会など機関会議等の開催状況、重要な検討事項について、以下の通りである。

1) 評議員会

開催状況、審議内容は、次のとおりである。

○2024年度定時評議員会

日時：令和6年6月14日(火)

場所：住友ビル(12階) 大阪府中央区北浜4丁目5-33

議事

1. 連絡事項

(1) 評議員の選任について

2. 決議事項

第1号議案 理事の選任について

第2号議案 定款変更について

第3号議案 令和5年度事業報告、決算報告、監査報告について

第4号議案 常勤理事の報酬額について

2) 理事会

開催状況、審議内容は、次のとおりである。

○第1回理事会

令和6年5月29日(水) 場所：ヤンマースタジアム長居

I 報告事項

1 2024年度審判講習会について

第1回〔4月14日 一般(新規・移籍・継続)〕

第2回〔4月29日(学生)〕実施済

第3回〔6月18日(一般:万博)〕

第4回〔6月30日(学生)〕

2 競技会

・第1回<万博・長居>〔4月7日〕

・第2回<長居>〔4月13日～14日〕大阪陸上競技記録会

・第1回(中学:万博〔4月6日〕)

・第2回(中学北部:万博/南部:長居〔4月27日〕)

・第3回(中学北部:万博/南部:長居〔5月6日〕)大阪陸上競技記録会

・第1回小学生陸上競技記録会<枚方>〔4月21日〕

・大阪陸上競技カーニバル<万博>〔4月28日〕

・第21回大阪府障がい者スポーツ大会<万博>〔5月12日〕

・日本GP第11回木南道孝記念陸上競技大会(WATC)〔5月12日〕

II 連絡事項

1. 第68回関西実業団陸上競技選手権大会〔5月31日～6月2日〕

2. 第77回全国インターハイ近畿地区予選会について〔6月13日～16日〕

3. 第92回大阪陸上競技選手権大会〔6月21日～23日〕について

4. 大阪マラソン2025について〔2025年2月24日(月・祝)予定〕

5. 大阪マラソン開催組織の法人化について
6. 定時評議員会〔6月14日〕について
7. ジュニアコーチ養成講習会について〔7月20日、8月11日～12日〕
8. 2024年度大阪陸協機構について

Ⅲ 協議事項

1. 令和5年度事業報告及び決算報告の承認並びに監査報告について
2. 理事候補者推薦について
3. 評議員候補者推薦について
4. 競技会ボランティア「ドリームブースター(仮称)」制度について
5. 功労賞、勲功賞、優秀指導者賞候補者について
6. 大阪スポーツ賞候補者推薦について
7. 2024年度顧問・参与について

Ⅳ その他

- ・事務局連絡等
- ・総務企画委員会 競技委員会 強化委員会 広報委員会 経営戦略会議、財務委員会、大阪アスレチックスアカデミア、収益事業検討プロジェクト報告

○第2回理事会

令和6年8月21日(水) 場 所：ヤンマースタジアム長居

Ⅰ 報告事項

1. 加入団体(クラブ)代表者会議〔7月2日〕について
2. JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会について〔7月20日・8月11日～12日〕
3. 競技会
- ・第92回大阪陸上競技選手権大会について〔6月21日～23日〕
～大会収支報告および関連企画総括について～
- ・第77回全国高校陸上競技対校選手権大会〔7月28日～8月1日〕
4. OSAKA夢プログラム パリオリンピック報告

Ⅱ 連絡事項

1. 大阪陸協加入クラブ対抗陸上競技大会〔9月29日〕
2. NAGAI Sprint Challenge 2024 について〔10月6日〕
3. 大阪マラソン2025について
4. 大阪マラソン開催組織の法人化について

Ⅲ 協議事項

1. 生涯現役スポーツ賞〔陸上競技関係〕推薦候補者について
2. 第78回国民スポーツ大会・大阪代表選手選考について

Ⅳ その他

- ・事務局連絡等
- ・競技委員会、強化委員会、広報委員会、経営戦略会議、大阪アスレチックスアカデミア、収益事業検討プロジェクト報告

○第3回理事会

令和6年10月18日(金) 場 所：ヤンマースタジアム長居

Ⅰ 報告事項

1. 競技会報告
- ・大阪陸協長距離ナイター記録会〔9月27日〕

- ・大阪陸協加入クラブ対抗陸上競技大会〔9月29日〕
- ・NAGAI Sprint Challenge 2024〔10月6日〕
- ・第57回近畿高校ユース陸上競技対校選手権大会〔9月13日～15日〕
- ・第51回全日本中学校陸上競技選手権大会〔8月17日～20日〕
- ・U16競技会挑戦記録会〔9月8日〕
- ・第40回全国小学生陸上競技交流大会〔9月22日〕
- ・第4回小学生陸上記録会〔9月29日〕
- ・第78回佐賀国民スポーツ大会大阪選手団成績

2 近畿陸協常務理事会について

II 連絡事項

- 1 大阪・中之島 2024 競歩大会〔11月10日〕について
- 2 大阪陸協第1回駅伝大会（11月16日）について
- 3 第27回全国視覚障がい者駅伝大会〔11月4日〕について
- 4 第44回大阪国際女子マラソン・2025ハーフマラソンについて
- 5 大阪マラソンについて
- 6 大阪マラソン開催組織の法人化について

III 協議事項

- 1 大阪陸上競技協会機構及び大規模大会の分担変更について
- 2 栄章について

IV その他

- ・事務局連絡等
- ・各委員会から報告（総務企画、財務、コンプライアンス委員会を除く。）

○第4回理事会

令和6年12月11日（水）場 所：ヤンマースタジアム長居

I 報告事項

1 競技会報告

- ・第27回全国視覚障がい者駅伝大会
- ・大阪・中之島2024競歩大会
- ・NAGAI EKIDEN FESTIVAL 2024
- ・大阪ロードレース
- ・エディオン ディスタンス チャレンジ in 大阪2024

2 OSAKA夢プログラム第Ⅱ期報告会〔11月7日〕

3 近畿陸協常務理事会について

II 連絡事項

- 1 大阪陸協長距離記録会〔12月14日〕
- 2 大阪陸協行事〔12月21日〕
- 3 第44回大阪国際女子マラソン・2025ハーフマラソン
- 4 第108回日本陸上競技選手権大会・室内競技について
- 5 大阪マラソン開催組織の法人化について

III 協議事項

- 1 令和6年度中間決算報告について
- 2 緊急収支改善対策（令和5年度下期～令和6年度）の延長について
- 3 理事改選について

4 OSAKA夢プログラム第Ⅲ期事業計画＜支援対象競技者他＞について

5 旅費規程改正について

IV その他

・事務局連絡等

・総務企画委員会、競技委員会、強化委員会、広報委員会、財務委員会、経営戦略会議、コンプライアンス委員会、大阪アスレチックスアカデミア、収益事業検討PT 報告

○第5回理事会

令和7年3月18日（火）場 所：ヤンマースタジアム長居

I 報告事項

1 競技会報告（書面報告 特にコメント必要ある場合のみ簡潔に）

- ・皇后盃第43回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会
- ・天皇盃第30回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会
- ・第44回大阪国際女子マラソン・2025ハーフマラソン
- ・第108回日本陸上競技選手権大会・室内競技、日本室内陸上競技大阪大会
- ・第16回おおさか子どもEKIDEN大会
- ・市長杯第76回大阪市民駅伝競走大会
- ・大阪マラソン2025
- ・大阪関西万博開催記念ACN EXPO EKIDEN 2025

2 近畿陸協常務理事会・役員総会について

3 おおさか夢プログラム活動報告

II 協議事項

1. 令和7年度 新理事（常務理事、業務無執行理事等）の選定について
2. 令和7年度 会長、副会長、専務理事の承認について
3. 令和7年度 大阪陸協機構について
4. 令和7年度 事業計画、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認について
5. 就業規則、準職員就業規則の改正について
6. 特定費用準備資金の取崩について
7. 令和7年度 事務局職員の採用について
8. 令和7年度 定時評議員会の招集について
9. 大阪マラソン開催組織の法人化について
10. 大阪陸協中期5カ年計画〔2025.4～2030.3〕について

III 連絡事項

1. WA-C T第12回木南道孝記念陸上競技大会について
2. 2025年度大規模大会の分担について
3. 2025年度 競技会理事担当割り当てについて
4. 旅費規程の改正による国内旅行旅費について

IV その他

・事務局連絡等

・各委員会報告 競技委員会S級・A級昇格者（案）承認、強化委員会、広報委員会、収益事業検討PT

3)常務理事会

常務理事会は、会長、専務理事、常務理事が理事会に提出する議案の事前審査、事業運営に関す

る意見交換を行う会議であり、原則として、理事会開催月の前月に開催することとしている。

第1回常務理事会

令和6年4月26日（木）場 所：ヤンマースタジアム長居

I 報告事項

1. 2024年度審判講習会について

第1回一般（新規・移籍・継続）

第2回（学生）]

第3回〔（一般:万博）]

第4回〔（学生）]

II 連絡事項

5. 大阪陸上競技カーニバルについて

6. WACT日本GP第11回木南道孝記念陸上競技大会について

7. 第92回大阪陸上競技選手権大会について

8. 大阪マラソン2025について

9. 大阪マラソン開催組織の法人化について

II 協議事項

1. 競技会ボランティア「ドリームブースター〔仮称〕」制度について

III その他

・事務局連絡等

・競技委員会、強化委員会、広報委員会、経営戦略会議、大阪アスレチックスアカデミア報告

第2回常務理事会

令和6年6月19日（水）場 所：ヤンマースタジアム長居

I 報告事項

定時評議員会について

II 連絡事項

1. 加入クラブ代表者会議について

2. 第92回大阪陸上競技選手権大会について

3. 大阪マラソン2025について

4. 大阪マラソン開催組織の法人化について

II 協議事項

III その他

・事務局連絡等

・競技委員会、強化委員会、広報委員会、経営戦略会議、大阪アスレチックスアカデミア報告

第3回常務理事会

令和6年7月17日（水）場 所：ヤンマースタジアム長居

I 報告事項

1 加入団体（クラブ）代表者会議について

2 第92回大阪陸上競技選手権大会について

3 大会収支報告および関連企画総括について

4 OSAKA夢プログラム パリオリンピック出場内定競技者

II 連絡事項

1 大阪陸協加入クラブ対抗陸上競技大会

2 大阪マラソン2025について

3 大阪マラソン開催組織の法人化について

II 協議事項

III その他

- ・事務局連絡等
- ・総務委員会、強化委員会、広報委員会、収益事業検討PT 報告

第4回常務理事会

令和6年9月26日（木）場 所：ヤンマースタジアム長居

I 報告事項

1 近畿陸協常務理事会について

II 連絡事項

- 1 NAGAI Sprint Challenge 2024
- 2 大阪・中之島 2024 競歩大会
- 3 第44回大阪国際女子マラソン・2025ハーフマラソンについて
- 4 大阪マラソン2025について
- 5 大阪マラソン開催組織の法人化について

II 協議事項

1. 大阪陸上競技協会機構及び大規模大会の分担変更について
2. 栄章について

III その他

- ・事務局連絡等
- ・競技委員会、強化委員会、広報委員会、経営戦略会議、大阪アスレチックスアカデミア、収益事業検討PT 報告

第5回常務理事会

令和6年11月19日（火）場 所：ヤンマースタジアム長居

I 報告事項

1. 第27回全国視覚障がい者駅伝大会
2. OSAKA夢プログラム第II期報告会
3. 大阪・中之島2024競歩大会
4. NAGAI EKIDEN FESTIVAL 2024

II 連絡事項

- 1 大阪ロードレース
- 2 エディオン ディスタンス チャレンジ in 大阪
- 3 大阪陸協長距離記録会・大阪陸上競技選手権大会10000m
- 4 第44回大阪国際女子マラソン・2025ハーフマラソン
- 5 第108回日本陸上競技選手権大会・室内競技
- 6 大阪マラソン開催組織の法人化について
- 7 理事改選について

III 協議事項

1. 緊急収支改善対策(令和5年度下期～令和6年度)の延長について
2. 旅費規程の改正案について
3. OSAKA夢プログラム第III期事業計画<支援対象競技者他>について

IV その他

- ・事務局連絡等

・競技委員会、強化委員会、広報委員会、経営戦略会議、大阪アスレチックスアカデミア、収益事業検討PT報告

第6回常務理事会

令和7年1月17日（金）場 所：ヤンマースタジアム長居

I 報告事項

1 近畿陸協理事会

2 皇后盃第43回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会

II 連絡事項

1 第44回大阪国際女子マラソン・2025ハーフマラソン

2 第108回日本陸上競技選手権大会・室内競技

3 第16回おおさか子どもEKIDEN大会

4 大阪マラソン2025

5 ACN EXPO EKIDEN 2025＜万博開催記念駅伝＞

6 日本GP木南記念陸上

7 経営戦略会議「第Ⅱ期中期5か年計画」策定経過について

8 大阪マラソン開催組織の法人化について

9 令和7年度競技会日程（案）について

10 理事改選スケジュールについて

III 協議事項

IV その他

・事務局連絡等

・競技委員会、強化委員会、広報委員会、経営戦略会議、大阪アスレチックスアカデミア、収益事業検討PT報告

4)専門委員会

審議状況は以下のとおりである。

・総務企画委員会

当委員会は、メール交換等の方法で開催し、各種新規事業の計画を審議するとともに、評議員会、理事会、常務理事会の準備や法令の改正調査、規程改正案の審査等を行った。また、大阪選手権大会において表彰する功労賞等の選考に関する事務、評議員会、理事会、常務理事会の議事録作成事務等を行った。

・競技委員会

第1回競技委員会（部長会議）（於：2024年7月31日、大阪陸協横会議室）

(1)今年度前半競技会の総括

(2)大阪ロードレースの実施内容の変更について

(3)各部の本年度活動方針、活動計画について

第2回競技委員会（部長会議）（於：2024年12月24日、大阪陸協横会議室）

(1)今年度後半競技会（12月まで）の総括

(2)次年度競技日程について

(3)次年度競技会要項について

(4)競技会赤字縮小対策について

(5)各部の活動状況の報告

第3回競技委員会（全体会）（於：2025年2月27日、ヤンマースタジアム長居大会運営室）

(1)2025年度競技会日程について

(2) 2025年度競技会要項について

(3) 全国競技運営責任者会議報告

(4) 各部からの報告

・強化委員会

第1回強化コーチ会議（7月18日） 国スポ選手選考、国スポ総合優勝に向けて

国スポ選手選考コーチ主任会議（8月15日） 国スポ大阪代表選手選考

国スポ申込書類作成会議（8月20日） 国スポ資格審査、申込書類作成

第2回強化コーチ会議（11月14日） 2025年度に向けた強化方針、強化策について

・広報委員会

競技会のYouTube配信を定着させ解説も加えたコンテンツとして配信した。日本選手権や国民スポーツ大会取材しOSAKA夢プログラムの指定競技者のインタビューを配信するなど、広報の幅を広げる取り組みを推進した。

・経営戦略会議

時期5か年計画をまとめるため、各事業の中長期の課題について議論を行った。とりわけアスレチックアカデミア事業、OSAKA夢プログラム事業について詳細な検討を行い新中期5か年計画として理事会の承認を得た。

・コンプライアンス委員会

種々の行事の服装により会議を招集することができなかった。

・財務委員会

WEB、メールを使用し、競技会の収支の改善、協賛金獲得等による財務基盤の安定化対策、更には予算編成、決算作成事務などを進めたほか、公益認定に伴う諸手続きに関して調整やその手続き事務を担った。

(6) 組織改革

収益事業検討プロジェクトチームの検討した新規事業を推進するとともに、既存競技会の収支改善について検討を行った。

以上のとおりであるが、2024年度事業報告は本文にて事業等が詳細に説明され、したがって「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は不要につき、附属明細書は作成しない。

2025(令和7)年6月

公益財団法人大阪陸上競技協会

※※※※※※※※※※※※※※※※※※

決算報告書

※※※※※※※※※※※※※※※※※※

第 14 期

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

公益財団法人 大阪陸上競技協会

貸借対照表

令和 7年 3月31日現在

公益財団法人 大阪陸上競技協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	76,089,763	66,150,354	9,939,409
未収入金	22,664,332	9,300,462	13,363,870
仮払金	193,000	0	193,000
貯蔵品	1,448,221	886,812	561,409
流動資産合計	100,395,316	76,337,628	24,057,688
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当有価証券	33,000,000	33,000,000	0
基本財産合計	33,000,000	33,000,000	0
(2) 特定資産			
競技普及振興基金引当資産	49,047,211	49,047,211	0
写真判定装置取得積立資産	151,385	151,385	0
退職給付引当預金	4,861,425	3,767,192	1,094,233
室内競技ボード取得修繕引当資産	43,100,000	43,100,000	0
主催事業拡大引当資産	82,718,562	91,900,000	△ 9,181,438
特定資産合計	179,878,583	187,965,788	△ 8,087,205
(3) その他固定資産			
車両運搬具	2	2	0
什器備品	7,387,748	9,905,082	△ 2,517,334
ソフトウェア	652,960	1,209,857	△ 556,897
その他固定資産合計	8,040,710	11,114,941	△ 3,074,231
固定資産合計	220,919,293	232,080,729	△ 11,161,436
資産合計	321,314,609	308,418,357	12,896,252
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,442,183	956,070	486,113
預り金	6,150	26,302	△ 20,152
仮受金	16,520	0	16,520
前受金	17,920,000	71,140	17,848,860
未払消費税等	1,044,100	495,900	548,200
流動負債合計	20,428,953	1,549,412	18,879,541
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,861,425	3,767,192	1,094,233
固定負債合計	4,861,425	3,767,192	1,094,233
負債合計	25,290,378	5,316,604	19,973,774
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
296,024,231	303,101,753	△ 7,077,522	
(うち基本財産への充当額)	(33,000,000)	(33,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(209,553,031)	(209,553,031)	(0)

科 目	当年度	前年度	増 減
正味財産合計	296,024,231	303,101,753	△ 7,077,522
負債及び正味財産合計	321,314,609	308,418,357	12,896,252

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

公益財団法人 大阪陸上競技協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	[627,000]	[627,000]	[0]
特定資産運用収入	[1,317,500]	[13,750,348]	[△ 12,432,848]
登録料受入収益	[16,879,733]	[17,793,100]	[△ 913,367]
団体	16,879,733	17,543,100	△ 663,367
高校生	0	200,000	△ 200,000
中学生	0	50,000	△ 50,000
受取寄付金	[33,645,000]	[38,215,000]	[△ 4,570,000]
受取寄付金	33,645,000	38,215,000	△ 4,570,000
受取委託金・助成金	[93,840,188]	[69,405,266]	[24,434,922]
受取委託金・受取助成金	1,007,000	961,000	46,000
大阪マラソン受託事業受取委託金	41,710,640	26,146,119	15,564,521
競技場管理委託事業受取委託金	70,950	121,950	△ 51,000
日本陸連助成金収入	2,900,000	4,704,157	△ 1,804,157
地方自治体等助成金収入	383,000	550,000	△ 167,000
障害者スポーツ指導事業受取委託金	252,000	300,000	△ 48,000
大阪国際女子マラソン受取委託金	21,043,200	14,338,000	6,705,200
競技会費用受託収入	26,473,398	22,284,040	4,189,358
事業収益	[57,049,856]	[53,355,208]	[3,694,648]
受取協賛金	28,905,000	30,069,660	△ 1,164,660
広告料収益	250,000	500,000	△ 250,000
参加料収益	22,568,328	18,849,460	3,718,868
写判貸出収益	330,000	400,000	△ 70,000
入場料収益	2,593,449	2,726,218	△ 132,769
放送権料収益	1,008,821	0	1,008,821
頒布収益	864,258	809,870	54,388
その他の収益	530,000	0	530,000
その他事業収益	[50,155]	[0]	[50,155]
販売手数料収益	50,155	0	50,155
雑収益	[1,097,659]	[4,329,175]	[△ 3,231,516]
受取利息	85,058	1,141	83,917
雑収益	1,012,601	4,328,034	△ 3,315,433
経常収益計	204,507,091	197,475,097	7,031,994
(2) 経常費用			
事業費	[204,790,008]	[204,433,185]	[356,823]
給与手当	27,135,737	18,820,444	8,315,293
退職給付引当金繰入額	972,883	486,587	486,296
法定福利費	5,443,280	3,145,696	2,297,584
福利厚生費	146,381	56,662	89,719
会議費	67,027	136,936	△ 69,909
旅費交通費	1,919,098	2,440,767	△ 521,669

科 目	当年度	前年度	増 減
通信運搬費	1,839,385	1,621,393	217,992
減価償却費	2,733,299	4,156,746	△ 1,423,447
備品・消耗品費	1,986,318	1,442,923	543,395
水道光熱費	89,177	87,580	1,597
賃借料	3,026,703	1,165,130	1,861,573
諸謝金	4,446	0	4,446
租税公課	104,018	0	104,018
支払手数料	611,105	813,089	△ 201,984
損害保険料	583,236	436,678	146,558
業務委託費	4,194,467	7,377,975	△ 3,183,508
印刷製本費	555,999	425,728	130,271
新聞図書費	197,161	217,947	△ 20,786
交際費	940,937	601,539	339,398
消費税	1,922,679	1,988,917	△ 66,238
補助金	2,707,000	2,707,000	0
激励金	600,000	970,000	△ 370,000
強化育成事業費	16,830,693	55,810,016	△ 38,979,323
強化育成事業費（夢プロ	22,826,884	0	22,826,884
強化育成事業費（アカデミア	20,062,012	0	20,062,012
大会開催費	43,350,949	44,224,329	△ 873,380
仕入商品代	696,711	1,439,936	△ 743,225
大阪マラソン受取委託費	17,465,452	14,922,205	2,543,247
競技場管理委託事業受取委託費	0	484,330	△ 484,330
大阪国際女子マラソン受取委託費	8,634,012	7,475,516	1,158,496
障害者スポーツ指導事業受取委託費	252,000	300,000	△ 48,000
競技会費用受託支出	16,358,959	13,260,244	3,098,715
陸上教室事業費	0	17,205,452	△ 17,205,452
加盟料	532,000	0	532,000
百周年事業	0	211,420	△ 211,420
管理費	[6,794,605]	[6,197,699]	[596,906]
給与手当	3,384,718	2,347,527	1,037,191
退職給付引当金繰入額	121,350	60,693	60,657
法定福利費	678,955	392,371	286,584
福利厚生費	18,258	7,067	11,191
加盟料	0	532,000	△ 532,000
会議費	8,360	17,080	△ 8,720
旅費交通費	239,374	304,443	△ 65,069
通信運搬費	229,431	202,241	27,190
減価償却費	340,932	518,482	△ 177,550
備品・消耗品費	247,759	179,979	67,780
水道光熱費	11,123	10,923	200
賃借料	377,529	145,330	232,199
諸謝金	554	0	554

科 目	当年度	前年度	増 減
租税公課	12,974	0	12,974
支払手数料	76,224	101,418	△ 25,194
損害保険料	72,748	54,468	18,280
業務委託費	523,187	920,276	△ 397,089
印刷製本費	69,351	53,102	16,249
新聞図書費	24,592	27,185	△ 2,593
交際費	117,365	75,031	42,334
消費税	239,821	248,083	△ 8,262
経常費用計	211,584,613	210,630,884	953,729
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,077,522	△ 13,155,787	6,078,265
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,077,522	△ 13,155,787	6,078,265
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,077,522	△ 13,155,787	6,078,265
一般正味財産期首残高	303,101,753	316,257,540	△ 13,155,787
一般正味財産期末残高	296,024,231	303,101,753	△ 7,077,522
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	296,024,231	303,101,753	△ 7,077,522

正味財産増減計算書内訳表

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

公益財団法人 大阪陸上競技協会

(単位：円)

科 目	公益事業目的会計	法人会計	合計	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収入	[627,000]	[0]	[627,000]	
特定資産運用収入	[1,317,500]	[0]	[1,317,500]	
登録料受入収益	[10,085,128]	[6,794,605]	[16,879,733]	
団体	10,085,128	6,794,605	16,879,733	
受取寄付金	[33,645,000]	[0]	[33,645,000]	
受取寄付金	33,645,000	0	33,645,000	
受取委託金・助成金	[93,840,188]	[0]	[93,840,188]	
受取委託金・受取助成金	1,007,000	0	1,007,000	
大阪マラソン受託事業受取委託金	41,710,640	0	41,710,640	
競技場管理委託事業受取委託金	70,950	0	70,950	
日本陸連助成金収入	2,900,000	0	2,900,000	
地方自治体等助成金収入	383,000	0	383,000	
障害者スポーツ指導事業受取委託金	252,000	0	252,000	
大阪国際女子マラソン受取委託金	21,043,200	0	21,043,200	
競技会費用受託収入	26,473,398	0	26,473,398	
事業収益	[57,049,856]	[0]	[57,049,856]	
受取協賛金	28,905,000	0	28,905,000	
広告料収益	250,000	0	250,000	
参加料収益	22,568,328	0	22,568,328	
写判貸出収益	330,000	0	330,000	
入場料収益	2,593,449	0	2,593,449	
放送権料収益	1,008,821	0	1,008,821	
頒布収益	864,258	0	864,258	
その他の収益	530,000	0	530,000	
その他事業収益	[50,155]	[0]	[50,155]	
販売手数料収益	50,155	0	50,155	
雑収益	[1,097,659]	[0]	[1,097,659]	
受取利息	85,058	0	85,058	
雑収益	1,012,601	0	1,012,601	
経常収益計	197,712,486	6,794,605	204,507,091	
(2) 経常費用				
事業費	[204,790,008]	[0]	[204,790,008]	
給与手当	27,135,737	0	27,135,737	
退職給付引当金繰入額	972,883	0	972,883	
法定福利費	5,443,280	0	5,443,280	
福利厚生費	146,381	0	146,381	
会議費	67,027	0	67,027	
旅費交通費	1,919,098	0	1,919,098	
通信運搬費	1,839,385	0	1,839,385	
減価償却費	2,733,299	0	2,733,299	
備品・消耗品費	1,986,318	0	1,986,318	
水道光熱費	89,177	0	89,177	
賃借料	3,026,703	0	3,026,703	
諸謝金	4,446	0	4,446	
租税公課	104,018	0	104,018	
支払手数料	611,105	0	611,105	
損害保険料	583,236	0	583,236	
業務委託費	4,194,467	0	4,194,467	
印刷製本費	555,999	0	555,999	
新聞図書費	197,161	0	197,161	
交際費	940,937	0	940,937	
消費税	1,922,679	0	1,922,679	
補助金	2,707,000	0	2,707,000	

科 目	公益事業目的会計	法人会計	合計	
激励金	600,000	0	600,000	
強化育成事業費	16,830,693	0	16,830,693	
強化育成事業費（夢プロ	22,826,884	0	22,826,884	
強化育成事業費（アカデミア	20,062,012	0	20,062,012	
大会開催費	43,350,949	0	43,350,949	
仕入商品代	696,711	0	696,711	
大阪マラソン受取委託費	17,465,452	0	17,465,452	
大阪国際女子マラソン受取委託費	8,634,012	0	8,634,012	
障害者スポーツ指導事業受取委託費	252,000	0	252,000	
競技会費用受託支出	16,358,959	0	16,358,959	
加盟料	532,000	0	532,000	
管理費	[0]	[6,794,605]	[6,794,605]	
給与手当	0	3,384,718	3,384,718	
退職給付引当金繰入額	0	121,350	121,350	
法定福利費	0	678,955	678,955	
福利厚生費	0	18,258	18,258	
会議費	0	8,360	8,360	
旅費交通費	0	239,374	239,374	
通信運搬費	0	229,431	229,431	
減価償却費	0	340,932	340,932	
備品・消耗品費	0	247,759	247,759	
水道光熱費	0	11,123	11,123	
賃借料	0	377,529	377,529	
諸謝金	0	554	554	
租税公課	0	12,974	12,974	
支払手数料	0	76,224	76,224	
損害保険料	0	72,748	72,748	
業務委託費	0	523,187	523,187	
印刷製本費	0	69,351	69,351	
新聞図書費	0	24,592	24,592	
交際費	0	117,365	117,365	
消費税	0	239,821	239,821	
経常費用計	204,790,008	6,794,605	211,584,613	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,077,522	0	△ 7,077,522	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 7,077,522	0	△ 7,077,522	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 7,077,522	0	△ 7,077,522	
一般正味財産期首残高	303,101,753	0	303,101,753	
一般正味財産期末残高	296,024,231	0	296,024,231	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	296,024,231	0	296,024,231	

財務諸表に対する注記
自令和6年4月1日 至令和7年3月31日

公益財団法人 大阪陸上競技協会

1. 重要な会計方針

1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券は満期保有目的であり、取得原価によって評価している。

2) 固定資産の減価償却の方法

定率法による。

3) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、期末における要支給額を積み立てている。その他の引当金は必要に応じ引き当てている。

4) 消費税等の会計処理

税込経理処理による。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本 財産				
基本金引当有価証券	33,000,000	0		33,000,000
小 計	33,000,000	0	0	33,000,000
特定 資産				
競技及振興基金引当資産	49,047,211	0	0	49,047,211
引当預金(普通預金)	(7,225,600			(7,225,600
同 (定期預金)	(40,000,000			(40,000,000
同 (有価証券)	(1,821,611			(1,821,611
写真判定装置取得積立資産	151,385			151,385
室内競技ボード取得修繕費引当資産	43,100,000			43,100,000
退職給付引当預金	3,767,192	1,094,233		4,861,425
主催事業拡大引当資産	91,900,000	1,944,500	11,125,938	82,718,562
小 計	187,965,788	3,038,733	11,125,938	179,878,583
合 計	220,965,788	3,038,733	11,125,938	212,878,583

※競技及振興基金引当資産の185,000,000円は、他基本財産及び特定資産に振替されている。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産等から充当額	うち一般正味財産等から充当額	うち負債に 対応する額
基本 財産				
基本財産引預金	0		0	
基本金引当有価証券	33,000,000		33,000,000	
小 計	33,000,000	0	33,000,000	0
特定 資産				
競技及振興基金引当資産	49,047,211		49,047,211	
写真判定装置取得積立資産	151,385		151,385	
室内競技ボード取得修繕費引当資産	43,100,000		43,100,000	
退職給付引当預金	4,861,425			4,861,425
国際競技会誘致引当資産	0		0	
主催事業拡大引当資産	82,718,562		82,718,562	
小 計	179,878,583	0	175,017,158	4,861,425
合 計	212,878,583	0	208,017,158	4,861,425

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	255,000	254,998	2
器具備品	28,238,738	20,850,990	7,387,748
ソフトウェア	5,609,876	4,956,916	652,960
合 計	34,103,614	26,062,904	8,040,710

5. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
野村証券(株)			
第38回三菱UFJFG劣後債	10,000,000	9,731,890	-268,110
第39回三菱UFJFG劣後債	10,000,000	9,928,400	-71,600
第4回三井住友トラストHD劣後債	4,000,000	3,939,916	-60,084
第19回三井住友FG劣後債	10,000,000	9,870,860	-129,140
第40回イオンモール(株)無担保社債	10,000,000	9,766,250	-233,750
第59回ソフトバンクグループ(株)無担保社債	30,000,000	29,363,970	-636,030
お預り金等	1,311,418	1,311,418	0
小 計	75,311,418	73,912,704	-1,398,714
みずほ証券(株)			
78回利付国庫債券(20年)	40,000,000	40,128,000	128,000
1回損保ソファパソ日本興亜期限前劣後社債	20,000,000	19,840,000	-160,000
5回ソフトバンクグループ 劣後社債	15,000,000	14,506,500	-493,500
MRFおよび金銭	11,416,293	11,416,293	0
小 計	86,416,293	85,890,793	-525,500
大和証券(株)			0
預り金	38,400	38,400	0
兵庫県公債	10,000,000	9,291,000	-709,000
小 計	10,038,400	9,329,400	-709,000
合 計	171,766,111	169,132,897	-2,633,214

※ 時価が帳簿価額(取得価額)を下回る銘柄であっても、

償還日には帳簿価額に回復する見込み(満期保有目的債券)であり原価法により評価している。

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額
競技力向上事業	大阪市	0	383,000
地域活性化事業助成金	公益財団法人日本陸上競技連盟	0	600,000
全国小学生交流大会補助金	公益財団法人日本陸上競技連盟	0	407,000
国際陸連 ブロンズ大会運営補助金	公益財団法人日本陸上競技連盟	0	2,200,000
公認ジュニアコーチ養成講習会補助金	公益財団法人日本陸上競技連盟	0	100,000
競技力向上事業向上対策補助金	公益財団法人大阪府スポーツ協会	0	268,000
全国都道府県対抗女子駅伝補助金	京都新聞社	0	300,000
全国都道府県対抗男子駅伝補助金	中国新聞社	0	300,000

補助金等の名称	交付者	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
競技力向上事業	大阪市	383,000	0	—
地域活性化事業助成金	公益財団法人日本陸上競技連盟	600,000	0	—
全国小学生交流大会補助金	公益財団法人日本陸上競技連盟	407,000	0	—
国際陸連 ブロンズ大会運営補助金	公益財団法人日本陸上競技連盟	2,200,000	0	—
公認ジュニアコーチ養成講習会補助金	公益財団法人日本陸上競技連盟	100,000	0	—
競技力向上事業向上対策補助金	公益財団法人大阪府スポーツ協会	268,000	0	—
全国都道府県対抗女子駅伝補助金	京都新聞社	300,000	0	—
全国都道府県対抗男子駅伝補助金	中国新聞社	300,000	0	—

付属明細書

本明細は、財務諸表に関する注記にも記載している。

1.基本財産及び特定資産の明細

(単位円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	有価証券(国債)	33,000,000	0	0	33,000,000
	基本財産計	33,000,000	0	0	33,000,000
特定資産	退職給与引当資産	3,767,192	1,094,233	0	4,861,425
	競技普及振興基金引当資産	49,047,211	0	0	49,047,211
	写真判定装置取得積立資産	151,385	0	0	151,385
	室内競技ボード取得修繕引当資産	43,100,000	0	0	43,100,000
	創立100周年記念事業引当資産	0	0	0	0
	主催事業拡大引当資産	91,900,000	1,944,500	11,125,938	82,718,562
	特定資産計	187,965,788	3,038,733	11,125,938	179,878,583
合計		220,965,788	3,038,733	11,125,938	212,878,583

2.引当金の明細

(単位円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給与引当金	3,767,192	1,094,233	0	0	4,861,425
計	3,767,192	1,094,233	0	0	4,861,425

財産目録

令和7年3月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等		(単位/円)	
(流動資産)				使用目的等	金 額
	小口現金	事務所金庫保管		運転資金として保有している。	
				(現金計)	622,633
	普通預金	三井住友銀行 駒川町支店 普通預金		運転資金として保有している。	622,633
		三菱UFJ銀行 あびこ支店 普通預金		運転資金として保有している。	1,488,963
		大阪シティ信用金庫 本店営業部 普通預金		運転資金として保有している。	3,221,865
		ゆうちょ銀行 普通預金		運転資金として保有している。	2,191,991
		関西みらい銀行 普通預金		運転資金として保有している。	5,618,509
		大阪シティ信用金庫 普通預金		運転資金として保有している。	121,322
		住信SBIネット銀行 法人第一支店		運転資金として保有している。	550,544
		夢プロ 三井住友銀行 駒川町支店 普通預金		運転資金として保有している。	1,853,649
		夢プロ りそな銀行 御堂筋支店 普通預金		運転資金として保有している。	35,086,183
		夢プロ ゆうちょ銀行 普通預金		運転資金として保有している。	19,719,088
		夢プロ ゆうちょ銀 当座		運転資金として保有している。	4,224,179
		アカデミア 三井住友銀行 駒川町支店 普通預金		運転資金として保有している。	161,900
					1,228,937
				(預金計)	75,467,130
				(現金預金計)	76,089,763
	未収金	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会委託金		公益目的事業の未収金	252,000
		大阪マラソン委託事業受取委託金 2025大阪マラソン主管料		同	17,000,000
		大阪市競技力向上補助金		同	383,000
		競技会費用受託収入 2025日本室内陸上分		同	5,029,332
	仮払金	誤送金			(未収入金計)
					22,664,332
					193,000
				(仮払金計)	193,000
	貯蔵品	審判手帳、審判証カード、襟章、夏季・冬季審判衣服、レインコート、ルールブック、指定ネクタイ、審判員証カードホルダー		公益目的事業に係る頒布品	
					1,448,221
流動資産合計					(貯蔵品計)
					1,448,221
(固定資産)					100,395,316
基本財産	有価証券	78回利付国庫債券 みずほ証券 40,000,000円のうち33,000,000円を充当		公益目的事業に係る保有財産であり、公益目的事業に使用している。本資産のうち四十分の三十三は公益目的保有財産(基本財産)であり、運用益の100パーセントを公益目的事業に供している。	
				(基本財産計)	33,000,000
特定資産	競技普及振興基金引当資産	78回利付国庫債券 みずほ証券 40,000,000円のうち7,000,000円を充当		公益目的事業の特定費用準備資産として保有している。	
	同上	預り金 みずほ証券		同	7,000,000
	同上	大阪シティ信用金庫 本店営業部 定期預金		同	10,000,000
	同上	大阪シティ信用金庫 本店営業部 定期預金		同	10,000,000
	同上	大阪シティ信用金庫 本店営業部 定期預金		同	20,000,000
		10,000,000円うち2,047,211円		同	2,047,211
				(競技普及振興基金引当資産計)	49,047,211
	室内競技ボード取得修繕引当資産	1回損保ジャパン日本興亜期限前劣後社債 みずほ証券		公益目的事業の特定費用準備資金として保有している。	20,000,000
	同上	第38回三菱UFJFG劣後債 野村証券		同	10,000,000
	同上	第39回三菱UFJFG劣後債 野村証券		同	10,000,000
	同上	大阪シティ信用金庫 本店営業部 定期預金		同	10,000,000
		10,000,000円うち3,100,000円		同	3,100,000
				(室内競技ボード取得修繕引当資産計)	43,100,000
	主催事業拡大引当資産	りそな銀行 御堂筋支店 普通預金		公益目的事業の特定費用準備資産として保有している。	1,112,472
	同上	5回ソフトバンクグループ劣後社債 みずほ証券		同	15,000,000
	同上	59回ソフトバンクグループ無担保社債 野村証券		同	30,000,000
	同上	兵庫県令和4年度第4回公募公債 大和証券		同	10,000,000
	同上	第4回三井住友トラストHD劣後社債 野村証券		同	4,000,000
	同上	預り金 みずほ証券		同	1,416,293
	同上	第19回三井住友FG劣後債			10,000,000
	同上	第40回イオンモール㈱無担保社債			10,000,000
	同上	預り金 大和証券			38,400
	同上	預り金 野村証券		同	1,151,397
				(主催事業拡大引当資産計)	82,718,562
	写真判定装置取得積立資産	大阪シティ信用金庫 本店営業部 定期預金 10,000,000円うち151,385円		公益目的事業に係る資産取得資金として、写真判定装置を取得するための引当資産として保有している。	151,385
	退職給付引当預金	大阪シティ信用金庫 本店営業部 定期預金 10,000,000円うち4,701,404円 及び野村証券預り金 160,021円		職員の退職給付に備えるため、当該事業年度末における退職給付債務に基づき引き当てている。	4,861,425
				(特定資産計)	179,878,583
その他固定資産	車両運搬具	ヤンマーフィールド長居倉庫 距離計測用自転車2台 大阪市東住吉区長居公園1-1		公益目的事業保有資産であり、主催事業等に使用している。	2
	器具費品	ヤンマーフィールド長居倉庫 公式計測用写真判定装置 1台 大阪市東住吉区長居公園1-1		同	1
		ヤンマーフィールド長居倉庫 競技運営用パソコン2台 大阪市東住吉区長居公園1-1		同	2
		ヤンマースタジアム長居事務所 ビデオ監視用テレビ1台 大阪市東住吉区長居公園1-1		同	1
		ヤンマースタジアム長居夢プロ事務室 競技用具 やり 2台 大阪市東住吉区長居公園1-1		同	2
		AED		同	261,906
		非接触サーモグラフィー度ドーム型		同	1
		ヤンマーフィールド長居倉庫 公式計測用写真判定装置 1台 大阪市東住吉区長居公園1-1		同	1,532,161
		大阪城ホール倉庫 室内競技ボード 大阪市城東区大阪城3-1大阪城ホール倉庫		同	4,984,320
		ヤンマーフィールド長居倉庫 照明器具一式 大阪市東住吉区長居公園1-1		同	609,354
				(車両運搬具、器具備品計)	7,387,750
	ソフトウェア	ヤンマースタジアム長居事務室 ホームページ製作 大阪市東住吉区長居公園1-1		共用財産、公益目的事業に89%、法人会計事業に11%を使用している。	652,960
固定資産合計					(ソフトウェア計)
					652,960
資産合計					220,919,293
貸借対照表科目		場所・物量等物量等		321,314,609	
(流動負債)				使用目的等	合 計
	未払金	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会委託金費用		公益目的事業に係る未払金	252,000
		春季大阪ジュニア陸上強化合宿費用		公益目的事業に係る未払金	488,598
		12月職員給与、賞与未払金		公益目的事業に係る未払金	701,585
	預り金			(未払金計)	1,442,183
				公益目的事業、法人会計事業に係る預り金	6,150
	仮受金	仮受金		(預り金計)	6,150
					16,520
	前受金	前受金		(仮受金計)	16,520
					17,920,000
	未払消費税	未払消費税		(前受金計)	17,920,000
				東住吉税務署への未払消費税	1,044,100
流動負債					(未払消費税計)
					1,044,100
(固定負債)					20,428,953
	退職給付引当金			職員の退職給付に備え年度末における退職給付債務を引き当てている。	
固定負債合計					4,861,425
負債合計					4,861,425
正味財産					25,290,378
					296,024,231

2025年5月26日

監査報告書

公益財団法人大阪陸上競技協会
会 長 松 本 正 義 様

公益財団法人大阪陸上競技協会

監事

岡田春夫 

監事

中村一夫 

監事

橋本正廣 

公益財団法人大阪陸上競技協会の2024年度における会計及び業務の監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第99条第1項の規定に基づき本監査報告書を作成し、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査については、会計帳票及び関係書類を閲覧し財務諸表の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し理事から業務の報告を聴取し、関係書類を閲覧して業務執行の妥当性を検討しました。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び付属明細書、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し財務諸表にかかる期間の財産及び正味資産増減の状況並びに財政状態を適正に表示しているものと認めます。
- (2) 2024年度の事業報告書は、この法人の状況を正しく示し内容は真実であると認めます。
- (3) 理事の業務執行については、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

第3号議案

顧問、参与の委嘱について

別紙の者に顧問、参与に委嘱する。

・別紙

〈定款 抄〉

(顧問、参与)

第34条 この法人に、顧問及び参与(以下「顧問等」という。)を置くことができる。

2 顧問は、この法人に特に功労のあった有識者及び理事経験者の中から、理事会の推薦に基づき、評議員会の決議を経て、代表理事が委嘱する。

3 参与は、競技の普及、向上及び審判等この法人の事業に関して特に功績のあった者の中から、理事会の推薦に基づき、評議員会の議決を経て、代表理事が委嘱する。

4 顧問等は、次の職務を行う。

(1) 代表理事の相談に応じること。

(2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること。

5 顧問等の選任及び解任は、理事会において決議する。

6 その他顧問等の職務に関し、必要な事項は、理事会において定める。

7 顧問等の報酬は、無報酬とする。

8 顧問等には、その職務を行うために要する費用を弁償することができる。この場合の支給基準は、評議員会の決議により別に定める。

令和7年度 顧問・参与一覧

顧 問（19名）

葦原 慶治	石田 雅幸	上田 重隆	小川 成子	岸本 照之
北田 耕之	熊木 利隆	近藤 鳩比古	雑賀 武志	七條 昌一
戸山 隆明	藤原 進一郎	前川 茂	宮川 正	向井 肇晴
薬師寺 茂夫	矢代 雅昭	吉田 暁	吉見 正憲	

参 与（34名）

市川 廣己	岩谷 忠雄	内本美奈子	大川 衛	大村 文弘
岡田 邦夫	奥田二三夫	角野兼太郎	梶 真弓	亀井 信吾
川崎 太樹	川崎 泰英	北林 直哉	栗山 寛繁	定木 徹治
杉野美智子	高橋 庸	田中 幸治	佃 衛	中西 正
永田 澄博	橋本 佳也	原田 新也	廣瀬 茂夫	藤原 宙造
松川 良紀	水谷 勝重	美濃部勝行	宮城 勉	安田 賢司
山地 繁信	山中 保博	山本 泰男	吉田 勝志	

顧 問

- ・副会長、専務理事（理事長）、副専務理事（副理事長）経験し、その任から退いた者
- ・参与を務め満80歳以上の者

参 与

- ・理事、監事、評議員を務めその任から退いた者
- ・特に大阪陸上競技協会に功労のあった者

備 考

- ・会長を務めた者は名誉会長に推挙する
- ・名誉会長、顧問、参与の委嘱は理事会の決議によるものとする

第5期 事業計画

(2025年4月1日～2026年3月31日)

公益財団法人大阪陸上競技協会

(概括)

本会は、陸上競技を通じてスポーツ文化の普及及び振興を図りもって府民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を涵養することを目的としている。本目的を達成するため、社会経済環境の変化に柔軟に対応しつつ、以下の事業を一連且つ相互に補完する公益目的事業を実施する。

近年、少子高齢化が進展する中、登録競技者数、公認審判員登録競技者数の減少がみられるなど、陸上競技をめぐる環境にもその影響が想定される。また、感染症拡大期を経てマラソンブームの過熱時代にも変化が認められる。そのため、競技者、ステークホルダーに加え、陸上ファンや一般市民が魅力を感じられる競技会やイベントを企画、運営していくことが重要な課題となっている。こうした環境変化に対応し競技者育成を図り、主催競技会等の魅力を高める企画を展開していくとともに、競技運営においては、競技者、観客、サポーターの満足度を引き上げ、一般市民に向けた広報活動を強化し、陸上競技の更なる魅力の向上に取り組んでいく。併せて、幅広い関係機関との連携を進め諸事業の活性化を図っていく。

小陸研、中体連、高体連、関西学連、関西実業団連盟などの関係団体と連携し、競技者の育成、強化を図り、全国的競技会での入賞等を図れるように取り組むとともに競技者の拡大を図るため各種の強化、育成事業を推進し陸上競技の魅力を高めていく。

ロスアンゼルスオリンピック競技大会でのメダル獲得を目指し地元大阪の若きアスリートを発掘、育成し競技のレベルを引き上げるとともに、スポーツ文化の普及及び振興を深めていくため、第三期OSAKA夢プログラム事業を推進し、海外の指導者と連携しつつ指定選手の育成、強化を図っていく。また、大阪マラソンは、記録、参加者数、満足度において世界トップレベルとなるよう充実・強化を図る。また、地域の活性化やまちづくりに資するよう、経済界、府市と協議を深め実施組織の法人化を検討していく。木南記念陸上競技大会は、引き続き国際化を推進していく。一般市民がスポーツを通じた健康社会づくりを体験する長居スプリントチャレンジ事業など府民が誰でも参加できる普及活動や関連事業を充実させていく。子どもたちがスポーツを通じて豊かな感性をもち成長していくよう、運動の苦手な子どもたちも心身ともに健全に成長していくとともに、未来のトップアスリートを目指す青少年層の育成を図るため大阪アスレチックスアカデミア事業を充実していく。

これら事業を着実に推進していくため以下の項目の事業を推進し、併せて組織基盤の充実を図るとともに各事業の相互連携を図り、各事業を関連付け一体的に実施していくこととする。

1. 陸上競技に関する諸計画の実施及びその技術指導等に関する事業

当協会は2025年度において、別添「2025年度大阪陸上競技協会が関係する競技会」表及び「2025年度大阪陸上競技協会競技会日程表」の通り、主催・主管・共催競技会も含めた大阪府内で実施される全ての競技会に役員、審判員の派遣し技術指導を行う。

次の競技会を重点競技会とし、当協会の総力をあげて実施し、IT機器、音響、映像の活用により、質の高い運営や技術の向上を図っていく。

- ・2025年度大阪陸上競技カーニバル
- ・第102回関西学生陸上競技対校選手権大会
- ・日本GPシリーズグレード1（WAコンチネンタルツアー・ブロンズ）第12回木南道孝記念陸上競技大会
- ・第69回関西実業団陸上競技選手権大会

- ・第93回大阪陸上競技選手権大会
- ・第93回近畿陸上競技選手権大会
- ・2025年度大阪陸協加入クラブ対抗陸上競技大会
- ・第28回全国視覚障がい者駅伝大会
- ・中之島2025競歩大会
- ・日本GPシリーズグレード2エディオンディスタンスチャレンジ in 大阪2025
- ・ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズG1第45回大阪国際女子マラソン大会
- ・2026大阪ハーフマラソン大会
- ・第7回関西学生ハーフマラソン選手権大会
- ・第109回日本陸上競技選手権大会・室内競技
- ・大阪マラソン2026

上記以外の競技会では近年参加者の減少が進んでいた「長距離記録会」を、今年度は回数を1回に集約し、内容を変更して実施する。

また公認競技会ではないが、陸上競技の普及発展の為一般市民ランナーや未登録者を対象とした長距離大会や駅伝を計画する。

2025年度競技規則修改正の周知については、全公認審判員に対し年度当初から数回にわたる審判講習会を通して徹底する。

2. 陸上競技会の主催、運営等に関する事業

(1) 国内競技会

1) 2025年度大阪陸上競技カーニバル

当協会が実施する競技会のうち唯一小学生から一般まで全ての種別が参加する競技会でありシーズンの幕開けにふさわしい競技会として運営する。

2) 第102回関西学生陸上競技対校選手権大会

2年振りの開催であり、関西学生のトップレベルの大会にふさわしい競技会となるように、前回同様学生競技役員を指導しながら競技運営を行う。

3) 第69回関西実業団陸上競技選手権大会

今年から3年間継続して実施予定である。過去の大阪開催での実績を踏まえ、昨年の総括を含めてよりレベルの高い大会運営を目指す。

4) 第93回大阪陸上競技選手権大会

大阪の選手権者を決める最高位の競技会であるので、それにふさわしい競技運営を行い競技者が最大のパフォーマンスを発揮し記録を達成できる大会を目指す。

5) 第93回近畿陸上競技選手権大会

近畿府県の持ち回りで行われる大会で、前回の大阪開催時の実績を生かしきめ細やかな大会運営を目指す。

6) 2025年度大阪陸協加入クラブ対抗陸上競技大会

シニア中心の大会であるが、学生にも門戸を広げ盛り上がった大会を目指す。一方、今年は参加者が極端に少ない種目及び現代では馴染みが低いメドレーリレーを廃止して実施する。

7) 第28回全国視覚障がい者駅伝大会

第16回大会から大阪で開催しているが、全国の視覚障がいランナーと伴走者が集う唯一の大会であり、その開催意義を踏まえ引き続き開催する。

8) 中之島2025競歩大会

都心部で実施する唯一の競歩大会として一昨年から実施されており、今年も種目を絞って開催する。

9) 日本GPシリーズグレード2エディオンディスタンスチャレンジ in 大阪2025

1年を通してポイントを争う競技会のうち長距離に特化した大会であり、大阪陸協が主管して3年目となる。ライブ配信を実施する。

10) 2026大阪ハーフマラソン大会・第7回関西学生ハーフマラソン選手権大会

ここ数年男女共に有力選手による記録向上が見られる。今年度も実業団を中心に積極的に選手招聘を行い国内トップレースを目指す。併催する関西学生ハーフマラソン選手権大会も年々参加者増加と記録が向上しており、両大会の相乗効果を期す。

11) 第109回日本陸上競技選手権大会・室内競技

日本国内唯一の室内競技会であり、シニアからU16までの各世代のトップアスリートを集めシーズン幕開けの大会として運営する。加えて小学生の種目も実施し、ジュニア世代の育成を図る。

(2) 国際競技会

1) 日本GPシリーズグレード1 (WAコンチネンタルツアー・ブロンズ) 第12回木南道孝記念陸上競技大会

競技会運営そのものは永年のノウハウを生かし適切に対応できているが、例年ネックとなっている海外選手の招聘については業者委託も視野に入れながら対応したい。また、昨年から有料試合としており、さらなる観客増員を図る為の様々なイベント等も企画していきたい。

2) ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズG1第45回大阪国際女子マラソン大会

コース変更により日本新記録が達成されたことで記録が出る大会として位置づけられており、昨年も世界陸上選手権の参加標準記録を複数名が達成した。女子マラソン界をリードする大会としての地位を確保し、国内外の有力選手を招聘して世界に羽ばたく女子選手の輩出を期す。

3) 大阪マラソン2026

都市型市民マラソンとしてスタートしたが、数年前よりエリートも加わり競技性の高い大会となった。コース変更も行われた結果4年続けて初マラソン日本最高が誕生し、学生新記録も2年続けて達成されている。さらなる競技力の向上を追求しながらも、3万人を越えるランナーが安全安心に参加出来る大会運営を目指す。

3. 陸上競技会に対する役員及び競技者の派遣に関する事業

各競技会に向けて大阪代表として相応しいレベルの代表選手を選考し、派遣する。

(1) 国内3大競技会への監督・コーチ・選手派遣

① 国民スポーツ大会 (2025年10月3日～7日：滋賀県・平和堂HATOスタジアム)

・上位入賞を目指す競技者で選手団を編成し、天皇杯 (男女総合優勝) および皇后杯 (女子総合優勝4連覇) を目指す。

② 皇后盃 第44回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会 (2026年1月11日：京都府・たけびしスタジアム京都～付設駅伝コース)

・皇后盃 (総合優勝) を目指す。

③ 天皇盃 第31回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 (2026年1月18日：広島県・平和記念公園前発着コース)

・上位入賞を目指す。

(2) その他の競技会への監督・コーチ・選手派遣

① 第79回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 (2025年7月25日～29日：広島県・ホットスタッフフィールド広島)

② 第52回全日本中学校陸上競技選手権大会 (2025年8月17日～20日：沖縄県・タピック県総ひやごんスタジアム)

- ③ “日清食品カップ” 第41回全国小学生陸上競技交流大会（2025年11月2日：神奈川県・日産スタジアム）
- ④ 第19回U18／第56回U16陸上競技大会（2025年10月17日～19日：三重県・三重交通Gスポーツの杜 伊勢陸上競技場）

4 陸上競技指導者等の表彰に関する事業

公認審判員活動、競技者指導、競技活動等の実績を踏まえ、審判員、競技者、指導者等の表彰を実施する。

大阪選手権大会において、次の表彰を行う。

①公認審判員、指導者等の表彰

- ・大阪の陸上競技界において、長年功績のあった公認審判員に対して経歴、実績を評価し「功労賞」を授与する。
- ・大阪登録のジュニア競技者の育成に顕著な功績のあった中学校、高等学校の指導者に対して、「優秀指導者賞」を授与する。

②競技者の表彰

- ・大阪新記録、同タイ記録の樹立、日本選手権大会等の全国的な競技会の優勝などの功績を残した競技者に対し「勲功章」を授与する。

③その他の表彰

- ・弊会登録競技者が世界記録・アジア記録を樹立したときには、競技者・指導者を表彰する。

5. 陸上競技選手等の育成・指導に関する事業

（1）強化事業（競技者の育成）

国内3大競技会（国民スポーツ大会、全国都道府県対抗女子駅伝・男子駅伝）での総合優勝を目指すとともに、明日を担うジュニア（中学生・高校生）の強化育成を図る。

- ① 女子長距離夏季強化合宿（2025年7月中旬：岐阜県御岳高原高地トレーニングエリア）
- ② 男子長距離夏季強化合宿（2025年7月26日～29日：岐阜県乗鞍高原グラウンド）
- ③ 小学生中学生合同練習会（2025年7月25日：服部緑地陸上競技場、2026年1月10日：万博記念競技場）
- ④ 国スポ強化合宿（2025年8月26日～28日：滋賀県水口スポーツの森）
- ⑤ 国スポ強化練習会（2025年9月23日：万博記念競技場）
- ⑥ 強化選手＜中学生・高校生＞練習会（2025年12月6日、2026年2月14日：万博記念競技場）
- ⑦ 高体連強化育成練習会（2025年12月25日～27日：ヤンマーフィールド長居）
- ⑧ 冬季大阪ジュニア陸上強化合宿（2025年12月25日～27日：和歌山県紀三井寺陸上競技場）
- ⑨ 男子駅伝チーム合同練習会（2025年12月～2026年1月、数回：長居公園、金岡公園）
- ⑩ 女子駅伝チーム年末合宿（2025年12月28日～29日：京都府・駅伝コース）
- ⑪ 女子駅伝チーム試走合宿（2026年1月4日～6日：京都府・駅伝コース）
- ⑫ 男子駅伝チーム試走合宿（2026年1月4日～5日：広島県・駅伝コース）
- ⑬ 冬季強化合宿（2026年1月4日～7日：鹿児島県ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅）
- ⑭ 中体連強化選手練習会（2026年1月24日、2月23日、28日、3月14日：万博記念競技場）

- ⑮ 春季大阪ジュニア陸上強化合宿（2026年3月27日～29日：和歌山県紀三井寺陸上競技場）

（2）指導者の育成

日本陸上競技連盟が2020年度に策定した「指導者養成指針」に従って指導者の養成に努め、有資格者（日本スポーツ協会および日本陸上競技連盟公認スポーツ指導者）を増やしていく。

- ① 日本陸上競技連盟主催「JAAF公認コーチ＜JSPO公認陸上競技コーチ3＞」養成講習会へ相応しい指導者を推薦し、派遣する。2025年度は高体連より2名推薦。
- ② 2025年度も「JAAF公認ジュニアコーチ＜JSPO公認陸上競技コーチ1＞」養成講習会を開催する。（2025年8月14日～15日：万博記念競技場）
- ③ 2025年度も「JAAF公認スタートコーチ＜JSPO公認スタートコーチ＞」養成講習会を開催する。（2026年2月28日：万博記念競技場）
- ④ 冬季大阪ジュニア陸上競技指導者研修合宿を開催する。（2025年12月27～29日：和歌山県紀三井寺陸上競技場）
- ⑤ 近畿ブロック研修合宿へ指導者を派遣する。（2026年1月10日～12日：和歌山県紀三井寺陸上競技場）
- ⑥ 有資格指導者への情報発信、資格更新研修会を開催する。
- ⑦ 中学生・高校生の指導者対象に各種目別実技指導講習会を開催する。

（3）大阪アスレックスアカデミア陸上教室

大阪アスレックスアカデミア事業は、幅広く一般府民を対象に令和3年9月から試行的に実施し令和4年度から正式にスタートした。令和5年度からは中学生にクラブを創設し中学生の公式競技会に参加し、今年度は全サイクルの完成年を迎える。ヤンマーフィールド長居を練習拠点として小学生、中学生、社会人合計160名の受講者により、陸上教室による心身の健全な育成を図っている。令和7年度においては、小学生、中学生を中心に社会人を加え250名の受講者を目標に受講者を募集する。

小学生の発達期における心身の健全な成長に資するようカリキュラム構成に意を用いていく。また、中学校体育連盟主催の競技会に参画していくためのクラブチーム「アスレックスアカデミア陸上クラブ(カテゴリー;登録生、練習生)」を推進していく。本事業により、将来の我が国のトップレベルの競技力を育成、指導していく基盤となるよう取り組んでいく。中学生の地域競技会、全国的大会等に出場し上位記録を目指す。今年度は、収支の均衡を図るため、社会人コース受講生の拡充などに取り組み、本事業の収支改善に取り組む。

＜陸上教室・アカデミア事業の理念＞

- ① 陸上競技を通じて、生涯にわたりスポーツを楽しめ、健康維持・向上につながる場を提供する
- ② 小中学生が楽しく陸上競技を学べる場を提供する
- ③ アスリートとして自己の目標に挑戦する場を提供する
- ④ 陸上競技の普及と発展を図る

この4つの目標を達成していくため、幅広く府民を対象として毎月3回(毎木曜日18時～20時)、年間36回の教室をヤンマーフィールド長居・ヤンマースタジアム長居において大阪市の後援のもとに実施する。

具体的には、指導経験豊富な指導者、看護師など20名を配置し、小学生低学年の部、高学年の部、中学生の部、障がい者の部、社会人の部に分け、基礎運動を楽しんで体験できるよう、それぞれの発達や能力に応じた練習内容を検討し育成、指導していく。

今年度は、一般府民・社会人、熟年者向けのランナー育成の部を設け、ジョギングを中心に楽しんでランニングし健康維持とその向上を目的としている方々を指導していくほか、フルマラソンなど本格的なレースにも臨んでいただけるように、個々の目標に応じたカリキュラムにより育成、支

援していく。

本事業においては、参加者全員が陸上競技を楽しめ、スポーツ体験を通じ運動能力、競技レベルが向上できるように日々の練習内容を精査し改良していく。

〈中学生向けアスレチックスクラブ〉

スポーツ庁による教員の働き方改革の推進を踏まえ、地域の総合スポーツクラブとしての受け皿育成を進める国の方向性を考慮しつつ、市町村等の動向や府・市教育委員会とも連携し、学校運動部の将来の在り方のモデルとなれるよう地域クラブとしての方向性を模索していく。

大阪アスレチックスアカデミア・陸上クラブにおいては、将来の国内最高水準の競技力を有する競技者を育成していく。そのため、中学生の時代からその素質を磨き、基礎体力を丹念に育成し、我が国のトップアスリートを育成できる環境を整備する一翼を担っていく。また、その指導、育成過程を通じ、心身の健全な育成を図ることを基本理念としつつも、社会課題の解決にも貢献できる人材の育成を目指していく。

(4)第三期OSAKA夢プログラム事業

第一期事業は、オリンピック競技大会に地元大阪から代表を送り入賞やメダル獲得を目指して、在阪経済界や陸上競技愛好者などからの寄付金により、平成27年9月から実施してきた。第二期事業においては、令和5年度ブダペスト世界陸上競技選手権大会の代表に10名を送り、令和6年度においてはパリオリンピック大会に6名の代表選手をおくることができ本事業の成果となった。しかしながら、準決勝に進んだもののメダル獲得には世界トップとの差があることが判明した。

第三期事業では、これらの反省を踏まえ、将来性のある競技者をジュニア層から選考する取り組みを強化するとともにロスアンゼルスオリンピック・パラリンピック競技大会を目指して複数の代表をおくりメダル獲得を図る。そのため、世界陸連のポイント制度を踏まえつつ、世界トップレベルの指導者のコーチング、海外競技会への積極的な参加、海外のトップ競技者との合同トレーニング参加など積み重ね、指定競技者個々の競技力を高めていく。更なる高みを目指して強化事業を推進していく。

(5)障がい者競技者指導、競技会への役員派遣

令和7年度は、大阪市障がい者スポーツ大会、大阪府障がい者スポーツ大会、大阪府視覚障がい者交流大会の大会運営を行うとともに、競技役員を派遣する。

また、大阪市長居障がい者スポーツセンターから障がい者競技者の育成、指導事業を受託し、ランニング教室を運営するとともに指導者を派遣する。

さらに、大阪府障がい者スポーツ教室、強化記録会及び強化練習会を開催し、指導者を派遣する。

全国視覚障がい者駅伝大会を主管し、競技役員を派遣し、全国障害者スポーツ大会（滋賀県）に選手・役員を派遣する。

6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

公認競技会の運営に係る登録競技者・公認審判員の登録、管理を行うとともに、陸上競技会に関する情報提供や広報事業を実施していく。

(1) 競技者・公認審判員登録管理等

登録競技者数の拡大、登録審判員の活性化などに取り組む。また、審判員の高齢化や登録者の減少が進んでいることから、高校生、大学生等の若年層の公認審判員として活動できるよう検討を進める。

公認競技会を運営する公認審判員の登録、昇格等公認審判員の管理を行うとともに、競技規則に関し修改正の周知、学習や実施指導により知識や技術の向上を図っていく。

(2) 広報事業の推進

陸上競技及び弊会の事業を広く広報するため、ホームページや動画サイト、SNSを使用し、陸

上競技関係者のみならず、陸上競技のファン、一般市民に情報がすばやく届けられるよう競技会の生中継放送やコンテンツの充実を図る。国際標準となる競技成績のタイムリーな公開、各競技会において一般府民が簡単にアクセスできるようスマートフォンへの展開も強化していく。

大阪マラソンでは日本放送協会、民間放送局と連携した中継放送を行うとともに、第12回木南記念陸上では、民間放送事業者とも連携し、実況生中継を行い広く一般市民や陸上競技愛好者に情報を提供していく。

主要事業、主催競技会に関し新聞、放送局、専門誌等に対する資料提供やきめ細やかな情報発信などの広報活動を拡充していく。第三期OSAKA夢プログラム事業に関しては、広報誌「さくら咲く」を発刊し、寄付者、一般府民に広報していく。

(3) 公認審判員の育成等

2025年度審判講習会は、4月にヤンマーフィールド長居、6月に日本万国博覧会記念競技場を使用し数回開催する。本講習会においては、国際陸連及び日本陸連競技規則の修正、改正に関する講習、実技指導を行う。また別途、新規公認審判員の認定講習を随時実施する。

また、AED操作講習会を審判講習会の開催に合わせて実施する。

近年、教員の働き改革等も影響し大規模競技会等の審判数の確保が困難な状況にあり、若い層の審判員の育成、各競技会に協力してもらいやすくなるよう各種の施策を検討していく。

(4) 組織運営

各種の競技会数の増加や国際化を推進していく中、企画・運営人材が不足し、円滑な競技運営に影響していることから、海外選手招請等の専門業務の委託や事務局体制の強化が図れるよう対応策を検討していく。

また、限られた財源のもとに競技会運営、強化事業を推進しており、財源の拡充が求められている。近年の人件費や交通費等の物価の上昇を踏まえ、健全な財務運営となるよう前年度に引き続き収支の改善にも取り組んでいく。

〈以下余白〉

第4号議案

2025年度予算編成方針

2025年3月18日

当年度予算案は、昨年度決算における13百万の収支差額のマイナス、資産の減少を踏まえ、財務体質を健全化していくため、下記の方針によって編成いたしました。

「緊急収支改善計画の延長(令和6年12月理事会決定)」に基づき、今年度末まで収支均衡に向けて改善に取り組めます。

理事各位のご協力をお願いいたします。

記

1. 2025年度収支予算総括表
2. 2025年度収支予算書

(収 益)

◎登録競技者を拡大し、競技会収入の増加と費用の削減を図る。

- ・登録料
- ・競技会参加料
- ・アスレチックアカデミア事業会費(社会人コース)
- ・木南記念大会チケット販売売上(9百万円)

(費 用)

◎各費用ともに、適切に節減を図る。

- ・諸経費の見直し
会議費、旅費交通費、接待交際費、消耗備品費、その他事務経費
- ・審判手当等の支給の電子化等

◎その他状況に応じ見直しを行う。

- ・大会費用の見直し
会場費、開催方法、審判編成方法の見直し、ボランティアの活用
- ・人件費
正職員の給与アップ+全職員の実績給の見直し(賞与)
※世間の賃金上昇を踏まえ、対応いたします。

2025年度 収支予算(総括表) 案
(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

公益財団法人大阪陸上競技協会

(単位:円)

科 目	2024年度	2025年度	増減	備考
公益目的事業会計				
(1) 経常収益				
基本財産運用収入	627,000	627,000	0	
特定資産運用収益	873,000	573,000	-300,000	運用利回りの減少
登録料受入収益	23,720,000	11,087,000	-12,633,000	登録者の減少
受取寄付金	42,000,000	41,500,000	-500,000	OSAKA夢プログラム第三期事業
受取会費	11,500,000	15,000,000	3,500,000	受講者の増
受取委託金・助成金	89,796,000	81,842,000	-7,954,000	主管事業の減少
事業収益	54,420,000	56,800,000	2,380,000	主管事業の拡大
雑収益	3,701,000	4,001,000	300,000	期末事業未収金の処理
経常収益計	226,637,000	211,430,000	-15,207,000	
(2) 経常費用			0	
事業費	226,637,000	211,430,000	-15,207,000	
経常費用計	226,637,000	211,430,000	-15,207,000	
当期増減額	0	0	0	
法人会計				
(1) 経常収益	7,780,000	6,913,000	-867,000	
(2) 経常費用	7,780,000	6,913,000	-867,000	
当期増減額	0	0	0	
合 計				
(1) 経常収益	234,417,000	218,343,000	-16,074,000	
(2) 経常費用	234,417,000	218,343,000	-16,074,000	
当期経常増減額	0	0		

2025年度 収支予算(案)
(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

公益財団法人大阪陸上競技協会

(単位;円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収入	627,000	0	0	627,000
基本財産運用収入	627,000	0	0	627,000
特定資産運用益	573,000	0	0	573,000
特定資産運用益	573,000	0	0	573,000
登録料受入収益	11,087,000	6,913,000	0	18,000,000
団体	1,000,000	5,000,000	0	6,000,000
個	3,087,000	913,000	0	4,000,000
中	7,000,000	1,000,000	0	8,000,000
受取寄付金	41,500,000	0	0	41,500,000
受取寄付金	41,500,000	0	0	41,500,000
受取会費収入	15,000,000	0	0	15,000,000
受取会費	15,000,000	0	0	15,000,000
受取委託金・助成金	81,842,000	0	0	81,842,000
大阪マラソン委託事業受取委託金	53,200,000	0	0	53,200,000
大阪国際女子マラソン委託事業受取委託	21,000,000	0	0	21,000,000
競技場管理委託事業受取委託金	1,000,000	0	0	1,000,000
障害者スポーツ指導委託事業受取委託金	432,000	0	0	432,000
競技会費用受託収入	1,000,000	0	0	1,000,000
受取助成金	5,210,000	0	0	5,210,000
事業収益	56,800,000	0	0	56,800,000
受取協賛金	28,200,000	0	0	28,200,000
参加料収益	17,500,000	0	0	17,500,000
入場料収益	9,000,000	0	0	9,000,000
写真判定機貸出収益	1,000,000	0	0	1,000,000
プログラム売上収益	100,000	0	0	100,000
頒布収益	1,000,000	0	0	1,000,000
審判員証	65,000	0	0	65,000
審判員証カードケース	17,600	0	0	17,600
審判員襟章	30,000	0	0	30,000
審判員手帳	50,000	0	0	50,000
指定ネクタイ	100,000	0	0	100,000
夏季ユニフォーム	200,000	0	0	200,000
冬季指定コート	0	0	0	0
指定レインコート	65,000	0	0	65,000
指定レインコート	35,000	0	0	35,000
日本陸連ルールブック	292,600	0	0	292,600
公認審判員ハンドブック	144,800	0	0	144,800
雑収益	4,001,000	0	0	4,001,000
受取利息	1,000	0	0	1,000
雑収益	4,000,000	0	0	4,000,000
経常収益計	211,430,000	6,913,000	0	218,343,000
(2) 経常費用				
事業費	211,430,000	0	0	211,430,000
給与・手当	13,252,000	0	0	13,252,000
賞与	2,855,000	0	0	2,855,000
賞与引当金繰入額	714,000	0	0	714,000
法定福利費	2,578,000	0	0	2,578,000
賃金繰入額	445,000	0	0	445,000
退職給付引当金繰入額	923,000	0	0	923,000
役員福利厚生費	178,000	0	0	178,000
原価償却費	4,790,000	0	0	4,790,000
会議費	1,334,000	0	0	1,334,000
旅費	2,223,000	0	0	2,223,000
通信・運搬費	1,512,000	0	0	1,512,000
備品・消耗費	1,156,000	0	0	1,156,000
水道光熱費	223,000	0	0	223,000
水賃	1,156,000	0	0	1,156,000
消費税	4,001,000	0	0	4,001,000
支払手数料	845,000	0	0	845,000
支業務委託費	7,558,000	0	0	7,558,000
印刷製本費	534,000	0	0	534,000
新開図書費	316,000	0	0	316,000
交際費	890,000	0	0	890,000
予備費	1,116,000	0	0	1,116,000
激励金	700,000	0	0	700,000
補助金	2,580,000	0	0	2,580,000
強化事業費	77,685,000	0	0	77,685,000
一般強化事業費	17,685,000	0	0	17,685,000

OSAKA 夢 プログラム 事業 費	39,000,000	0	0	39,000,000
大阪アスレチックスアカデミア事業費	21,000,000	0	0	21,000,000
損害 保 険 料	400,000	0	0	400,000
広 告 宣 伝 費	200,000	0	0	200,000
大 会 開 催 費	42,000,000	0	0	42,000,000
仕 入 商 品 代	586,000	0	0	586,000
審 判 員 証 書	44,000	0	0	44,000
審 判 員 証 カ ー ド ケ ー ス	33,000	0	0	33,000
審 判 員 襟 章	22,000	0	0	22,000
審 判 員 手 帳	33,000	0	0	33,000
指 定 ネ ク タ イ	0	0	0	0
夏 季 ユ ニ フ ォ ー ム	90,000	0	0	90,000
冬 季 指 定 コ ー ト	0	0	0	0
指 定 レ イ ン コ ー ト 白	0	0	0	0
指 定 レ イ ン コ ー ト 赤	0	0	0	0
日 本 陸 連 ル ー ル ブ ッ ク	241,000	0	0	241,000
公 認 審 判 員 ハ ン ド ブ ッ ク	123,000	0	0	123,000
大阪マラソン委託事業受取委託費	27,000,000	0	0	27,000,000
大阪国際女子マラソン委託事業受取委託	8,800,000	0	0	8,800,000
競 技 場 管 理 委 託 事 業 受 取 委 託 費	1,000,000	0	0	1,000,000
競 技 会 費 用 受 託 支 出	1,000,000	0	0	1,000,000
日 本 陸 連 登 録 料 支 出	0	0	0	0
障害者スポーツ指導委託事業受取委託費	430,000	0	0	430,000
修 繕 費	20,000	0	0	20,000
管 理 費	0	6,913,000	0	6,913,000
給 与 ・ 手 当	0	1,653,000	0	1,653,000
賞 与 引 当 金 繰 入 額	0	356,000	0	356,000
賞 与 定 福 利 費	0	89,000	0	89,000
法 定 福 利 金	0	322,000	0	322,000
賃 金	0	56,000	0	56,000
退 職 給 与 引 当 金	0	116,000	0	116,000
役 職 員 福 利 厚 生 費	0	23,000	0	23,000
減 価 償 却 費	0	519,000	0	519,000
加 入 費	0	532,000	0	532,000
会 費	0	167,000	0	167,000
旅 費 交 通 費	0	278,000	0	278,000
通 信 ・ 運 搬 費	0	189,000	0	189,000
備 品 ・ 消 耗 品 費	0	145,000	0	145,000
水 道 光 熱 費	0	28,000	0	28,000
賃 借 料	0	145,000	0	145,000
消 費 税 料	0	500,000	0	500,000
支 払 手 数 税 料	0	106,000	0	106,000
業 務 委 託 費	0	943,000	0	943,000
印 刷 製 本 費	0	67,000	0	67,000
新 聞 図 書 費	0	40,000	0	40,000
交 際 費	0	111,000	0	111,000
予 備 費	0	528,000	0	528,000
経常費用計	211,430,000	6,913,000	0	218,343,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0
損益評価等計	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	303,101,753	0	0	303,101,753
一般正味財産期末残高	303,101,753	0	0	303,101,753
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減の部	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	303,101,753	0	0	303,101,753